

地域コミュニティの原点は、楽しい時間を共有すること

浜松市富塚協働センター(静岡県)



あおぞら協働センター 参加者のみなさん



ごみゼロフェスタ 「ごみゼロ」のポーズでボランティア集合

公民館の沿革・年表

- 昭和58年 富塚公民館開設
- 昭和61年 附設体育館開設
- 平成25年 富塚協働センターへ名称変更
- 平成27年 優良公民館として文部科学大臣賞受賞
- 平成28年 富塚地区小中3校の学校運営協議会に参画
- 令和2年 静岡県教育長表彰受賞
- 令和2年 あおぞら協働センター開始(現在継続中)
- 令和3年 ごみゼロフェスタ開始(現在継続中)
- 令和4年 FREE Wi-fi稼働

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

「あおぞら協働センター」協働センター×アート

- ・つどう・まなぶ・むすぶは建物がなくとも本来の機能を果たす取り組みを行う。
- ・公園で大きな白いパラソルのもと、アーティストとクリエイティブなワークショップを開催する。アートに触れることにより、多様な価値観を認め合うダイバーシティの実現ができた。
- ・幅広い世代があつまり、世代間交流ができ、週末の居場所機能を果たしている。出会いにより友人ができるのはもちろん、後日事業の手伝い等、波及効果があった。

佐鳴湖ごみゼロ運動「ごみゼロフェスタ」地域一丸でひとつになる

- ・3年前、佐鳴湖のごみ拾いボランティアの活動をきっかけに、5・3・0(ごみ・ゼロ)の5月30日に近い日曜日に、ごみ・環境・SDGsについて学ぶ日本初「ごみゼロ」を目指す祭りを開催している。中高生・地域ボランティア含め約200名で運営した。
- ・ごみ問題だけでなく、暮らし方まで見直し、持続可能な地域づくりの一翼を担う。
- ・ごみゼロ運動が機運となり、小中学校と連携し、特別授業の開催支援を行ったり、小学生をはじめとするボランティアの輪が広がったりした。

公民館情報		1. 公民館対象人口	19,435人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)	
		2. 建物設置年月日	昭和58年4月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	無制限	
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input checked="" type="checkbox"/> その他 (浜松市)					
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	1205人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	71,186人	<input type="checkbox"/> 講演会、展示会等	32人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	9042人	(あおぞら協働センター、ごみゼロフェスタ、夏祭り、アオハル音楽祭、ハロウィン・プロギング、富っくオアトリート! 2022、スポGOMI、クリスマスコンサート、おもしろウルトラオーキング等)			合計 81,465人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	3人	<input type="checkbox"/> 兼任	0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	6人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)		(職員のうち社会教育士の数 0人)		<input type="checkbox"/> ボランティア協力者	0人
		合計 9人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂		
	<input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援		
	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール		
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学		
<input checked="" type="checkbox"/> その他		(佐鳴湖ごみ問題啓発展示、各種事業の写真展示、自治会回覧物の閲覧本)				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (届出・証明等の市民サービス窓口の併設、体育館)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述	(開館当時から、富塚花の会が種から苗・花を育て、花壇の手入れしている。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学		
	<input checked="" type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関		
	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
	富塚地区自治会連合会、富塚地区社会福祉協議会、富塚地区民生委員・児童委員協議会、富塚小学校、富塚西小学校、富塚中学校、PTA、子供会、シニアクラブ、体育振興会、佐鳴湖・段子川ごみバスターズ、浜松若者社中、学生FRESH、ピタゴラス富塚、パーマカルチャーデザインラボ、そろそろart in progress、BOB ho-ho、各アーティスト、一般社団法人プロギングジャパン、プロギング浜松、浜松ケーブルテレビ株式会社、浜松FM放送、昆虫食倶楽部、浜松魚部、浜松いわた信用金庫富塚支店、クリエイティブサポートレッツ等					

浜松市富塚協働センター

OPEN (月曜日) 8:30~17:15
(月曜日以外) 8:30~21:30
TEL 053-472-7682

H P https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/maps/c-tomitsuka_sc.html
SNS <https://www.instagram.com/aozora.kyodocenter/>





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

富塚地域は、かつての農村と高度経済成長期の新興住宅地からなっている。現在、高齢化率27.2%であり少子高齢化が進んでいるが、市内でも人気のあるベッドタウンとなっている。当地域は、ボランティア活動が盛んな地域であるが、近年では自治会等の役員なり手不足、共働き世帯の増加、地域コミュニティの希薄化が進んでいる。地域住民と話す中で、仕事などで忙しい方が多く、地域と協働センターの両輪で事業を進める住民ニーズが高いことが判明した。本市は「SDGs未来都市」に選定されており、職員も常に高いアンテナを張り（SDGs目標17 パートナシップで目標を達成しよう）、地域の声・要望等をカタチにする事業を展開していった。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【あおぞら協働センター】職員が、若狭公民館の「パーラー公民館」で研修を受けた後、地域住民から最近の子どもは外で遊ばない、日常的に幅広い世代交流が少ないという声を受け、開催する。令和2年から開始し、6月末から12月上旬まではほぼ毎週開催し、日常的に顔を見合わせる機会ができた。若者がInstagramの運営をしたり、アーティスト主催イベント「ヤーヤーヤー」開催など波及効果があった。累計開催54回、延べ参加者2,478名。
 【佐鳴湖ごみゼロ運動】佐鳴湖のごみポイ捨てゼロを目指し、ボランティアと連携し、各種事業を展開する。地域住民への周知として、館内での常設展示を行っている。ごみゼロを目指す「ごみゼロフェスタ」開催した。内容は、拾ったごみを洗って、アート作品を作るワークショップやごみ分別ゲームなどを行った。走りながら、ごみを拾うSDGs新スポーツ「プロギング」を全国の公民館・静岡県に先駆け初めて開催をした。自主サークルも立ち上がり、地域課題解決の輪が広がった。また、渋谷のハロウィンの惨状を見て逆手に取った日本初「ハロウィン・プロギング」（仮装して走りながらごみを拾う）、地元ラジオ局等と協働し、ごみ拾い競技「スポGOMI」開催、佐鳴湖周辺の4協働センターと連携して「佐鳴湖ごみゼロ推進キャラバン隊」を立ち上げ、各地で講座等を開催する。パーマカルチャー（自然と共生し持続可能な菜園づくり）の手法やエシカル消費も学び、ごみの出ない生活について考えた。
 【若者ボランティア「コミュニティ・アシスタント」】登録ボランティア制度で高校生を中心に現在41名活動中。事業の手伝いだけではなく、音楽が特技という若者が多かったので「アオハル音楽祭」、子供向けハロウィンイベント「富ックオアトリート！2022」、出入り自由の学習支援を行う自習室「スタトミ」を企画開催した。子供会の役員のなり手不足が課題という声を受け、若者とクリスマス会支援も行き、地域コミュニティの持続可能な取り組みも行った。
 【「富用品市 ピタゴラス富塚」との連携】入場料100円で建物内にあるものは、いくつでも無料で持ち帰ることができる「ピタゴラス富塚」がある。1か月ロビーで出張コラボ開催し、無料で持ち帰りができ、1,132点が新しい所有者のもとに渡った。SDGs目標12「つくる責任 つかう責任」を軸にサステナブルな地域社会構築の支援ができた。



あおぞら協働センターワークショップ



佐鳴湖ごみゼロ推進キャラバン隊
意見交換を行っている様子

3. 取組による成果や効果

- それぞれの活動は当初「点」で動いていたが、人のつながりは「線」となり「面」となっていた。顔の見える関係づくりができ、地域のために一肌脱ごうとする関係性ができた。地域力が向上し、相乗効果も生まれた。例えば、あおぞら協働センターに遊びに来た小学生とごみ拾いボランティアが出会い、活動に加わる相互交流もあった。後日、小学生は母親と一緒にあおぞら協働センターへ遊びに来て、ごみ拾いボランティアと初めて対面する一幕もあった。
- 地域づくりは、幅広い世代の意見を聞くことが重要と考え、若者ボランティア制度を創設した。当初5名で始まったコミュニティ・アシスタントは現在41名と増えた（うち、青少年の表彰13名受賞）
- ピタゴラス富塚を市民活動表彰の市長賞や3R環境大臣賞に推薦し、それぞれ受賞できた。
- 地域から「協働センターを中心に変わってきた」という声を多数いただく。活動を見て、無償で近所の方が敷地内の草刈りを行ってくれるようになった。
- 令和4年度開催した事業はテレビ・新聞等合わせ約40回報道され、地域課題等を住民に伝えることができた。



ごみゼロフェスタ トークセッション

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 地域の代表者等20名で構成する富塚協働センター運営委員会で、事業報告・事業計画案を提示し、様々なご意見を賜り見直し等を行い、実施・改善を行っている。夏祭りにブラジル人学校とコラボし、国際交流をしたり、災害時に必要な1日水3Lで生活するサバイバル防災合宿をしたり声を事業に反映している。
- 毎月、自治会連合会会合に出席し、地域の要望や声を事業へカタチとしてつなげている。
- 講座やイベント等終了後、アンケートや意見交換会を開催し、声を吸い上げ次の運営等につなげている。
- 重点項目として、子どもから高齢者、障がい者、外国籍の方まで、あらゆる層の社会的包摂や地域全体でウェルビーイングの実現ができているか確認をする。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 「地域コミュニティの原点は、楽しい時間を共有すること」をモットーに、楽しい学びを提供している。
- 地域の顔の見える関係づくりをサポートし、地域課題を自ら事としてとらえていただくようなプログラムを考えている。
- ワクワク感やドキドキ感を提供し、なぜ来ないのではなく、どうしたら来ていただけるかを常に検討している。
- 多くの人の顔と名前を覚え、お互い協働できるように、すべての出会いを大切にしている。
- さまざまな課題に対応した事業を意見を出し合うため、やりがいや達成感を与え、また携わりたいと思えるよう運営した。



浜松ケーブルテレビで的一幕

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 声や要望は可能なかぎり実現し、社会・生活・地域課題の解決の糸口になることをメニューを考える。
- ともに学び、成長・信頼される関係性をつくり、「より良い地域づくりをする」共通のベクトルや意識を持ち、ハブ機能を果たしていく。多様な主体との連携は常に視野に入れる。例えば、若者の「スマホ」と高齢者の「編み物」など相互の特技を教え合えるようなを、地域コミュニティとデジタル社会に対応した「技術交換会」講座を検討している。
- SDGsをテーマとし、地域住民が自ら考え、自分事と捉え、地域の学びと実践のプラットフォームを構築する。



子供会のクリスマス会支援

人・自然の調和するまち 高部

静岡市高部生涯学習交流館(静岡県)



高部生涯学習交流館



講座受講風景

公民館の沿革・年表

- ・昭和32年3月 清水市高部公民館
- ・昭和52年 静岡県公民館連絡協議会
優良公民館表彰受賞(県教育長賞)
- ・昭和56年 優良公民館等文部大臣表彰受賞
- ・平成15年 静岡市高部公民館(合併により名称変更)
- ・平成20年 静岡市高部生涯学習交流館
(教育委員会から市長部局移管により名称変更)
- ・令和4年 優良公民館等静岡県教育長表彰受賞

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

(左上写真)

高部生涯学習交流館全景

高部小学校敷地内にあるため、学校との連携もし易く、小学生も利用し易い。

(左下写真)

目玉講座「不登校のSOSとケアについて」受講風景

公民館情報		1. 公民館対象人口	16718人	3. 来館者のインターネット接続環境	無し
		2. 建物設置年月日	昭和54年4月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	-
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (清水区生涯学習交流館運営協議会) <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2903人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 24575人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1,229人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				合計 28,707人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 6人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 6人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (教室等会費)				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (小学校施設内に有るので、生徒が利用しやすい。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (市立高部小学校、自治会、任意団体、静岡市)				

静岡市高部生涯学習交流館

OPEN 9:00~21:30

H P <http://www.sgk-shimizuku-shizuoka.jp>

TEL 054-346-0828

SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

全国的に不登校が増える中において、静岡市また高部地区でも当事者である児童やその家族、教育機関が苦慮する状況で、その不安を払しょくする一助、きっかけとなることを願い、多角的な切り口で体験談、医師の視点、心の癒しなど、体系だった講座を企画しました。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

不登校の当事者、その家族、不登校に対応する教育機関などそれぞれの方の課題解決の糸口になるために、別々の視点からの講義を三回行いました。

1. 不登校の現状とケア、体験談と進路について

「母親の体験談、不登校の理解とサポート」をテーマに進め、最初に体験談として学校に行けなくなった本人と家族の戸惑い、葛藤、母親が見守りながら子ども自身で進路を決めていく経緯や現在はいきいきと仕事をしている話を聞きました。

次に元中学校長でその後教育にとどまらない各種相談業務を行っている講師による座学として「不登校とは、四つのサイン、タイプ、不登校の経緯・段階、具体的な四つの事例、接し方、進路選択について」の話を聞きました。

その後、参加した動機や感想について話し合い共有の時間を持ちました。

2. 医師による「いのちのおはなし」

緩和ケアや終末医療に関わっている医師より「いのちの授業」を聞きました。

「悲しみ」を心で理解することの難しさ、寄り添いながら思いを共感する大切さを学びました。

3. アロマセラピーの活用

家族が子供のケアとコミュニケーションをとる方法を学び、張り詰めた緊張をほぐすためアロマセラピーを活用するマッサージなどを体験しました。



講座風景（ディスカッション）



講座風景（アロマセラピー）

3. 取組による成果や効果

参加者は多様で、当該家族、対応する立場の方、特定の講師の話を聞きたい方など様々でした。三回が全く違う視点からのものなので、全ての回で深い理解ができた方も居れば、ある講座に関しては参加ニーズとは違って受容できない方もおられましたが、アンケートでは好評な意見が多く、今後に生かせるという声を多くいただきました。体験談を聞いた時には涙を流して聞く方も居て、みなさん真剣に聞かれていました。

全体的にはとてもありがたかったという声が多く、講義に対する感謝だけでなく、参加者同士で感想を聞き、共有できたことに喜んでいる方もいて、好調な成果、効果を得られたと考えられます。



講座風景（いのちの授業）

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

好調な成果、効果を得られた一方で、一部の方の感想として、ご自身が求めたものと違う回があったという方が居られたので、今後の対応としては、募集の時点で、それぞれの回についてもう少しきめ細かい周知を考えたいと思います。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

生涯学習交流館は「つどう」「むすぶ」「まなぶ」場です。高部は元々地域の方々が利用される頻度が高い交流館ですので、自治会などとも協力して、地域の輪を育てる役割を担いたいと思います。



自治会主催ヨガ

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

上記のように地域の方々の利用はとても多いので、それを活かして地域の人材育成に力を入れるとともに、リピーター以外の新しい利用者の開拓も考えていきたいと思えます。



人材育成（防災講座）

「大里かるた」でふるさと再発見！



静岡市大里生涯学習センター(静岡県)

公民館の沿革・年表

- ・平成7年 旧静岡市8番目の公民館として市立大里中学校、大里保健福祉センターとの複合施設で開館
- ・平成10年 静岡県優良公民館表彰受賞
- ・平成20年 大里生涯学習センターへ移行
- ・平成21年 指定管理となる
- ・令和3年 静岡県教育長表彰受賞

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

- ・大里生涯学習センターは、当時としては珍しい中学校との複合施設として設立されました。学校とは渡り廊下で繋がっています。
- ・施設駐車場の花壇には、四季折々の草花が植栽され、来館者や地域住民の目を楽しませています。これはセンター事業で養成した花壇ボランティアの人たちの手入れによるものです。
- ・書道の活動をしている利用団体が、中学校の特別支援学級へ出向き、生徒の学習支援に取り組むことで、世代間交流と社会的包摂への理解を高める機会を提供しています。

公民館情報		1. 公民館対象人口	42085人	3. 来館者のインターネット接続環境	無し
		2. 建物設置年月日	平成7年3月31日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 ((公財) 静岡市文化振興財団) <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 3918人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 36746人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()			合計	40,664人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 5人				
8. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (保健福祉センター) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (大里中学校、大里保健福祉センター、静岡市音楽館、静岡市科学館、静岡市美術館、静岡市歴史博物館)				

静岡市大里生涯学習センター

OPEN 9:00~21:30

TEL 054-283-1698

HP

SNS

<https://sgc.shizuokacity.jp/>





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

平成26年に市内を流れる一級河川「安倍川」近隣に在る生涯学習センター5館と静岡科学館とで、安倍川をテーマとした「安倍川流域まち歩きMAP」を市民参加で制作した。その後、MAPづくりの際に収集した地域の歴史や文化の情報を整理し、大里地域の特徴である「川と水」に着目、「川と水」をキーワードとした各種事業を実施した。平成29年に、その成果のまとめとして「大里かるた」を制作した。かるた制作後は、かるたで取り上げた文化財等の周知、理解を深め地域への愛着を涵養するために「ウォーキングコースの設定」や「ウォーキングガイドの養成」を行い、副読本の制作にも取り組んでいる。

また、「大里かるた」大会を開催し、「大里かるた」の普及啓発にも努めている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【ウォーキングガイド養成講座（ボランティア養成）】

「大里かるた」普及のため、カルタ札に取り上げた場所を巡るウォーキングコースを市民と協働で作成。札幌所の紹介役を分担し、各自が調査し紹介文を作成、ウォーキングコースを巡る講座開催の際には市民へ解説するガイドを担う。

【大里かるた大会（地域資源を活用したまちづくり）】

大里地域に在る、幼稚園・保育園、小中学校へ出前授業を行い、「大里かるた」の普及を図っている。かるた遊びを楽しむことに留まらず、絵札を解説することで地域の歴史や文化への関心を高め、自分たちが暮らす地域への愛着心を育む機会としている。

【副読本の制作（記録・保存活動）】

個々のカルタ札の解説とウォーキングコースの紹介を目的とした副読本の制作に取り組んでいる。読み札の限られたスペースに収めきれなかった情報や、ウォーキングコース設定の経緯や特色等を紹介し、地域を巡る際のガイド本となることを目指している。



ウォーキングガイド養成講座の様子



ウォーキング講座の様子

3. 取組による成果や効果

- ・かるた大会への参加者の増加。
- ・高齢者学級や女性学級など当センターで開催する事業での活用。
- ・他の生涯学習センターでの活用。
- ・学校の地域学習（総合・情報等）の時間の教材としての活用。
- ・地域包括支援センターや老人会での活用。
- ・史跡所有者の啓蒙と保存活動の活性化への寄与。



かるた大会の様子

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ・平成26年のMAP作り以来、大学教授に監修を依頼し、適宜評価、助言を得ている。
- ・生涯学習センター運営委員会で活動報告を行い評価されるとともに、情報や協力を得ている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

現在は住宅や工場が多数立地し市街地近郊地区として発展している大里地域だが、元々は郊外の農村だった為、これといった特色が無い「何もないところ」と考える住民が多い。しかしながら昔から人の営みがあった土地であり、その歴史を窺い知る史跡が点在しており、それらから地域の歴史や特色を窺い知ることが出来る。地域の特徴を知ることによって地域への関心が高まり、地域への愛着を深め、地域を誇りに思う人が増えることが、この地域の発展に寄与すると考えて事業に取り組んでいる。



ウォーキングコース

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

少子高齢化や地域コミュニティの衰退等の諸問題に加え、長く続いたコロナ禍が人々のライフスタイルに様々な影響を及ぼし、生涯学習センターへの要望も変化してきている。市民に寄り添い、市民の学習やまちづくりの活動を支援する施設として、市民ニーズの的確な把握に努め、その期待に応える施設であり続けたい。



大里かるた

学びって面白い！



シニア健康づくり教室



「いこいの春アート」

大府市立神田公民館(愛知県)

公民館の沿革・年表

- 昭和53年 神田公民館開設
 昭和56年 愛知県公民館連合会優良公民館表彰受賞
 平成 元年 内外装改修工事実施
 平成 6年 公民館生涯学習推進委員会設置

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

上の写真は、至学館大学との連携で開催した「シニア健康づくり教室」で、大学生が講師となり高齢者に運動を教え、筋力を測定し、その結果についてアドバイスしているところである。10月から12月にかけて全10回開催する講座で、毎週顔を合わせるため、最終回は孫と別れを惜しむかのようにさみしくなる人もいる。左の写真は「いこいの春アート」という講座で、社会福祉施設利用者と地域住民が協力して1枚の春の景色の絵を制作するため、各々でパーツの色塗りをしているところである。完成した絵は、社会福祉法人の施設や公民館で展示をした。

公民館情報		1. 公民館対象人口	4519人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和53年4月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	20台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	1460人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	18011人	合計 20,109人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	638人	(公民館まつり)		
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	2人	<input type="checkbox"/> 兼任	0人	合計 7人
	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 5人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人)				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂	
	<input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援	
	<input type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	
<input type="checkbox"/> その他 ()					
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ()				
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (昭和の懐かしいものを展示し、利用者が昔話に花を咲かせている。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学	
	<input type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関	
	<input type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他	
(北崎自治区、神田コミュニティ推進協議会、北崎みどり会(老人会)、神田女性の会(婦人会)、神田小学校、至学館大学、神田児童老人福祉センター、社会福祉法人憩の郷など)					

大府市立神田公民館

OPEN 9:00~21:00 H P https://www.city.obu.aichi.jp/bunka/manabi/kouminkan_shisetsu/1006975/index.html
 TEL 0562-46-2620 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 大府市神田地区では、高齢者の割合が高いため、健康体操や認知症予防などの講座が充実していたが、学びたいニーズに合っていたのか疑問に感じていた。
- 若い世代や障がいのある人、また国籍の異なる人たちの公民館利用が少ない。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【教養分野の講座の開催】

学びって面白い！

【楽しい教養講座開催プロジェクト（高齢者の学び支援）】

上記の課題から、講座の幅を広げるため、過去に講座内容が好評だった講師から、他の講師を紹介してもらい、浮世絵、古典籍、復元模写、クラシック音楽、唱歌など様々なジャンルのテーマの講座を企画し、講座開催予定を一覧にして地域住民に手渡した。

【みんなが交わる公民館（取組全体）】

障がいをもっている人や国籍の異なる人も一緒に参加する事業を「地域共生事業」と名づけ、地域の社会福祉法人と協力し、精神障がいや引きこもりの方と地域在住の高齢者の皆さんと一緒に参加できる健康体操やアート制作を行った。また、公民館に隣接する竹林を整備する団体の協力を得て、地域の子どもたちに水鉄砲作りを教える講座を大学生が補助講師として行ったり、高齢者向けの健康づくり教室で大学生が講師として活躍するなど、若い力を地域に活かした。さらに、「対話のレッスン」という演劇手法を用いてコミュニケーションについて学ぶ講座では、高齢者以外にも特別支援学校に通う生徒や外国籍の高校生など幅広い世代が参加し、異なる世代の人との対話を楽しんだ。



唱歌の楽しみ



対話のレッスン

3. 取組による成果や効果

【各活動による成果・効果（学びって面白い）】

- 内容問わず積極的に参加する住民が増加した。
- 住民から講師を紹介してもらえた。
- 公民館講座への関心が広がり、次にどういった講座があるのかと尋ねてくる人が増えた。

【取組全体による成果・効果】

- 世代による考え方の違いを知ることが新鮮で楽しかったと感想があった。
- 障がい者や大学生が公民館まつりでブースを出すなど積極的に参加し、活気に溢れた。



公民館まつりへの出店

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 自治区・コミュニティ・学校関係者等15名で構成する生涯学習推進委員会を年4回開催し、公民館事業や地域の現状等を議論するなど、地域拠点としての役割を意識した公民館運営を行っている。
- 高齢者が多く集まる場に顔を出し、住民の世間話からニーズなどを引き出すようにしている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

「学びって面白い！」をテーマに様々な分野の講座を企画し、講師に地域性や参加者の関心事などを伝え、より良い学びの時間をつくり、住民の興味関心をさらに広げていきたいと考えている。また、若い世代などにも公民館を身近に感じてもらうため、柔軟性をもって様々な人の可能性を受け入れ、若者が活躍できる機会を創ることが大切であると感じている。



坊さん漫才

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

複数日程で行う講座では、講座後に自主団体として活動できるよう、公民館が伴走しながら自立を目指し、学びの自主性を育てていきたい。また、地域共生事業の講座や全世代が参加する全世代型サロンなどにより、様々な人が交わることができる公民館として、あらゆる人にアプローチをしていきたい。



初めての弁当づくり教室

世代を超えて愛される施設を目指して

豊川市小坂井生涯学習センター(愛知県)

公民館の沿革・年表

- 昭和47年4月 小坂井中央公民館 会館
- 平成22年2月 豊川市・小坂井町合併により、小坂井生涯学習会館として引き継ぐ
- 平成26年6月 「豊川市公共施設適正配置計画」策定 小坂井エリアの施設再編プロジェクト 開始
- 令和3年4月 豊川市生涯学習会館条例を廃止し、豊川市生涯学習センター条例 施行 (小坂井生涯学習センターに名称変更)
- 令和3年5月 小坂井生涯学習センター機能を有する複合施設「こざかい葵風館」開館

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

●こざかい葵風館 (きふうかん) 外観 (左上画像)
 合併、条例変更、施設移転・・・怒涛の歴史を歩んできた小坂井生涯学習センターは現在、複合施設「こざかい葵風館」内で、地域の生涯学習拠点として運営している。こざかい葵風館には、生涯学習センターのほか、支所、児童館、図書館があり、幅広い年齢の方々が訪れる。複合施設ならではの特色を生かし、ふらりと立ち寄った人が楽しめる企画を随時実施している。(左下画像)



こざかい葵風館



七夕飾り

公民館情報		1. 公民館対象人口	21728人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	令和3年5月2日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	300台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 3671人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 42286人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 合計 45,957人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 5人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 7人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (地域交流の場づくり、企業等との連携)				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (市役所支所、児童館、福祉相談センター) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (愛知県立小坂井高等学校生徒会、豊川市立小坂井東小学校、豊川市立小坂井西小学校、豊川市立小坂井東保育園、地元企業等)				

豊川市小坂井生涯学習センター

OPEN 9:00~22:00
 TEL 0533-72-2165

H P <https://www.city.toyokawa.lg.jp/shisetsu/bunkakyoiku/shogaicenter/kozakaicenter.html>





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

小坂井生涯学習センターは、令和3年5月に、市内初の図書館や児童館、支所を内包した複合施設「こざかい葵風館」のオープンに伴い移転した。複合施設ならではの利便性の高さがあり、移転後は、これまで利用していなかった世代も含め、多くの団体が小坂井生涯学習センターを利用している。地域住民の希望『多世代交流』のコンセプトにより、独自の取組として、小坂井生涯学習センターが施設全体を巻き込んで、地元高校や大学との連携等、様々な企画を実施している。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

多くの人が集まる複合施設ならではの特色を生かし、『様々な世代が交流できる』企画を実施している。また、講座としては、中学校区ごとに講座を設定する"地域生涯学習講座"や"放課後子ども教室"、市民が講師となって開催する"とよかわオープンカレッジ"など、様々な世代にフォーカスを当てた活動を行っている。

【愛知県立小坂井高等学校生徒会のクリスマス展示（若者のまちづくり参画）】

地元の高校生に依頼し、ロビーにクリスマスの飾りつけを設置している。飾りのデザインや製作をすべて高校生が行い、令和3年度は風船で作るクリスマスツリー、令和4年度はプレゼント山盛りの「そり」など、創意工夫あふれる飾りつけをした。飾りつけ当日は、児童館に遊びに来ていた子どもと高校生が協力して飾りつけを行った。高校生にとって地域に貢献できる機会となった。

【弱いロボット博inこざかい葵風館（その他 企業等との連携）】

県内の豊橋技術科学大学の研究室と連携し、「弱いロボット」とのふれあいイベントを実現している。弱いロボットはひとりでは何もできないからこそ、人に寄り添いコミュニケーションをとる必要がある。話しかけてあげたり、じっと待ってあげたりと、ロボットとの交流を通して、来場したさまざまな世代が展示を楽しんだ。



クリスマス展示



弱いロボット博

3. 取組による成果や効果

●弱いロボット博では、記者発表等を活用したことで、ももとの来館者だけでなく、弱いロボットを目当てにこざかい葵風館を訪れる方もいた。中には初めて施設に来たという方もいた。施設に対する地域住民の関心を向上させる効果があった。

●小坂井生涯学習センターは、中学校区で唯一の生涯学習拠点であり、市内外を問わず利用者の申込があるため、市内で最も利用率の高い生涯学習センターとなっている。日々サークル活動や講座が開催され、地域住民の生涯学習活動を支えている。また複合施設であることや多世代交流の取組により、若い世代の利用者が多く、ダンス練習やゲーム大会を行うなど、多数の若者の姿が見られた。



子ども会で利用する様子

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

令和3年度は、こざかい葵風館4課会議として、小坂井生涯学習センターを所管する生涯学習課・図書館・児童館所管課、市役所支所の職員と共にイベントを企画する機会を設けた。企画した取組を市の公式SNSやホームページに掲載し、地域住民や普段生涯学習センターを訪れていない方々にも届くよう工夫している。現在でも現場の職員同士で企画を協議し、こざかい葵風館全体の活性化に努めている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

小坂井生涯学習センターでは、中学校区ごとに配置している生涯学習指導員（退職教員の会計年度任用職員）と生涯学習推進員（地元住民）が、地域のニーズに合わせた"地域生涯学習講座"を企画している。施設にこだわらない柔軟な生涯学習計画体制で、多くの地域住民が生きがいをもって心豊かに暮らしていけるよう、生涯学習活動を支援する。地域生涯学習講座の中には、地元の歴史を学ぶもの、地元企業との連携で開催されるものもあり、地域色豊かな講座が展開されている。



地域生涯学習講座

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

今後も複合化施設ならではの特色を生かし、図書館や児童館といった施設と連携した企画を立てていく。また、中学校区ごとに企画するという地域のニーズに寄り添った仕組みを生かし、参加した方が『自己の生涯学習に関心をもつきっかけ』となるような講座・教室を企画していく。様々な活動とおして、地域全体の生涯学習の推進に貢献したい。



こざかい葵風館1周年展

Let's Begin Now

彦根市稲枝地区公民館(滋賀県)



R4. 「福寿大学 開講式・暮らしの安全講座」



R4. 「サークル発表会」みずほ文化センター会場

公民館の沿革・年表

昭和55年(1980年)の公民館整備計画により、1中学校区に1地区公民館を設置する方針で、地区公民館の建設を逐次実施してきた。

- 昭和56年度(1981年度) 稲枝地区公民館設置
- 平成28年度(2016年度) 指定管理Ⅰ期
- 令和 2年度(2020年度) 指定管理Ⅱ期

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- 福寿大学(年6回連続講座)
令和4年5月13日、開講式と講座「暮らしの安全」。彦根警察署生活安全課と稲枝3駐在所から交通事故と特殊詐欺の話聞く。滋賀県警シンボルマスコットの「けいたくん」と「ひこにゃん」も登場し啓発する。会場が大変盛り上がった。
- 稲枝地区文化祭(サークル発表会)
令和4年11月6日。みずほ文化センター多目的ホール。コロナ禍で文化祭が中止になるが、サークルからの要望で「稲枝地区公民館サークル発表会」を開催。8サークルの発表と6サークルの作品展示を行う。地域住民のよい交流・発信の場となった。

公民館情報		1. 公民館対象人口	11891人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)	
		2. 建物設置年月日	昭和56年3月17日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	1,000(市全体)	
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (稲枝地区公民館運営委員会) <input type="checkbox"/> その他 ()					
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	1606人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	6536人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	628人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	3229人 ()	合計 11,999人			
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	1人	<input type="checkbox"/> 兼任	0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	2人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)		(職員のうち社会教育士の数 0人)		<input type="checkbox"/> ボランティア協力者	0人
		合計 3人				
8. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂		
	<input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援		
	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール		
	<input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学		
	<input type="checkbox"/> その他 ()					
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設		<input type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 学校	<input type="checkbox"/> 生涯学習センター	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (市役所支所、地区体育館、文化ホールが集約された敷地に立地する地域の拠点)		<input type="checkbox"/> その他 ()			
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> 高校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学		
	<input type="checkbox"/> 企業	<input type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input type="checkbox"/> 行政機関		
	<input type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> 稲枝東小学校 稲枝西小学校 稲枝北小学校 稲枝中学校 聖泉大学 稲枝地区連合自治会 稲枝地区青少年育成協議会 稲枝地区青少年指導員会 健康推進委員会(稲枝地区) 地域包括支援センターいなえ					

彦根市稲枝地区公民館

OPEN 8:30~17:15

H P <https://inaekouminkan.com>

T E L 0749-43-4041

SNS <https://www.youtube.com/@user-zw7co7po7b>





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 地域住民の公民館への期待値が高く、「公民館は生涯学習の拠点」という認識・風土を持つ地域である。公民館事業や各講座への参加者も大変意識が高く、貸館等の利用者も大変多い。
- 平成28年度から指定管理公民館となる。創意工夫した特色ある公民館運営、公民館独自の企画が展開されている。
- 高齢化が進み、公民館行事への参加も高齢者が大変多い現状がある。
- 稲枝地域の3小学校1中学校との連携も進めている。若い世代の公民館活動への参画を課題としている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【市民のニーズに応じた講座運営(福寿大学・自主(いなえ)講座)】

定期的な利用者アンケート調査の実施、日常的な利用者とのコミュニケーションにより、ニーズの把握に努めており、「暮らしの安全」「高齢者の安全運転」などの生活・安全に関する講座、彦根の歴史講座、雅楽の演奏などの伝統文化や音楽に係る講座のほか、まちづくりや健康に関する講座等、ニーズに対応した講座を開催している。

【デジタル技術を活用した取組】

パソコンの基本的な技術を学ぶ講座を開催するほか、滋賀県主催の「滋賀の文化財講座」のサテライト会場として、地域住民向けにオンライン配信を行っている。

公民館独自のホームページを開発しており、公民館の講座等事業の紹介のほか、「稲枝地区の桜の見どころ紹介」や「公民館長の部屋」等、ファン獲得のためのコンテンツの充実を図っている。また、YouTubeチャンネルも開設しており、公民館講座やサークル発表会、稲枝地区のドローン映像の紹介等の配信を行っている

【子どもの豊かな体験をサポートする各種団体との連携】

小学校へのお出前講座(紙飛行機づくり)、夏休みの工作教室、大型ヨット(クルーザー)体験教室、イルミネーション、親子寄せ植え教室、青少年グラウンドゴルフ大会など、稲枝地区青少年育成協議会や稲枝フレンズクラブと協働して企画する。

夏の大型ヨット体験教室は、参加者に大変人気の体験活動で、平成24年から続いている。グラウンドゴルフは小学生や中学生が多数参加し、子どもたちが青少年指導員たちと一緒にゲームを楽しむ多世代交流の場となっている。公民館が地域の青少年育成協議会の事務局で活動していることが強みである。



R5. 福寿大学「雅楽に親しむ」



R4. 稲枝青少年育成協議会「大型ヨット体験教室」

3. 取組による成果や効果

【各活動による成果・効果(市民のニーズに応じた講座運営)】

●開催講座はいずれも人気が高く、毎回30名～50名の参加がある。生活・まちづくり・歴史・健康という領域で地域に関わる講師の講座は大変人気がある。

【各活動による成果・効果(デジタル技術を活用した取組)】

●パソコン講座は、受講者からの評価も高く、定期的な開催となっている。

●「滋賀の文化財講座」のオンライン配信では、遠方に出かける機会・手段がない地域住民にとって県の文化財を知る貴重な機会となっている。

【これまでの取組全体による成果・効果】

●公民館が生涯学習の拠点、たくさんの人が集まる場になり、地域のまちづくりの一助となっている。青少年育成協議会の取組等により子どもたちの参画の場が広がり公民館と学校との連携が充実した。また、コロナ禍の中でも、サークルも意欲的に活動され、11月のサークル発表会もよい発信の場になった。関係団体のサポート体制がより強くなり、それぞれのアイデアで活動が広がった。



R4. 自主(いなえ)講座「歴史講座」

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

●令和5年度で指定管理2期8年になる。年1回の指定管理者候補者選定委員会で委員から評価をいただき、よりよい公民館運営をめざしている。

●公民館の現状や実績・課題について議論していただき、PDCAサイクルで検証・改善を行っている。

●稲枝中学校学校運営協議会(コミュニティ・スクール)で公民館と学校との連携・活動等について検証・評価している。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 「いなえのまちづくりの拠点」としてアイデア豊かに各種講座運営、文化祭等に取り組み、公民館がコーディネート、関係団体との連携・ネットワークづくりを大切にしている。
- 大人から子どもまで関わる企画により、世代間交流を大切にしている。
- 稲枝・彦根の文化や自然、まちづくり(生活)に係る講座の充実を図る。
- ホームページで情報発信し、地域に開かれた公民館をめざしている。



R4「青少年グラウンドゴルフ大会」

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 魅力的な公民館情報発信の充実(ホームページと公民館だより)
- 誰でも気楽に集える場づくり(多くの世代をターゲットにしたテーマの講座開催)
- ICTを活用した学習情報の発信(講座の動画配信)
- 地域自治会・諸団体・学校教育・家庭教育との連携・ネットワークづくりのさらなる構築



R4. 7/30-8/19「稲枝ミルミネ」

つなぐれ ひろぐれ まなびの“わ”

宇治市生涯学習センター(京都府)



宇治まなびんぐフェスタ オープニングセレモニー



宇治まなびんぐフェスタ ギコギコ・トントンくらぶ

公民館の沿革・年表

・平成6年

市民の学習機会の拡充を図るため、講座の実施、学習情報や自主活動の場の提供など、市民が生涯学習を实践するための拠点施設として、また生涯学習の基礎となる学校教育のための研究施設として開設された。

・平成26年

第67回優良公民館として文部科学大臣賞受賞

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

・「宇治まなびんぐフェスタ」は、市民公募による実行委員会形式で、生涯学習活動に取り組む市民の活動発表や交流の場、これから何かを始めたい市民のきっかけづくりの場として開催している。

・「うじ市民活動サポート事業」では、市民グループ・個人に対して、自ら企画した講座やイベントの実施を、会場提供、広報の協力等を通してサポートしている。その他、年度ごとにテーマを変え、生涯学習を牽引するような人材を育成するための講座を開催している。

公民館情報		1. 公民館対象人口	181616人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成6年1月17日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	45台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2141人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 52638人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 合計 54,779人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 15人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 3人 職員のうち社会教育士の数 1人) 合計 17人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (生涯学習審議会による代替)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (各フロアに市民活動や休憩のためのスペースがある)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (宇治まなびんぐフェスタ実行委員会、宇治ボランティア活動センター、宇治市福祉サービス公社、琵琶地区民生児童委員協議会、おやこころんどサポーター、宇治市民大学運営スタッフ会等)				

宇治市生涯学習センター

OPEN 9:00 ~ 22:00 (月曜は貸館休みのため17時閉館)

T E L 0774-39-9500

H P <http://www.city.uji.kyoto.jp/site/shogaigakushu>

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- ・社会やライフスタイルの変化等により、希薄化傾向にある人と人とのつながりを大切にするために、子どもから大人まで幅広い年齢層が交流したりつながりたりする機会を提供する必要がある。
- ・「人生100年時代」を踏まえ、市民の学びへのニーズも多様化する中、個人の生涯にわたる自己実現を図る生涯学習と、学びを通じて人と人がつながるように働きかける社会教育をともに充実させる必要がある。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

- ・例年2月に開催している「市民まなびの集い 宇治まなびんぐフェスタ」では、公募実行委員が運営し、出展者が生涯学習の活動を老若男女問わず多くの地域住民に発表し、交流を広げ、学びのきっかけをつくる場として定着している。また、小学生に、遊びや学び、体験活動等を提供する「夏休み子ども★わくわくフェア」を例年7月に開催し、出展者を募ったり当日ボランティアを募集したりして市民とともに事業を実施している。
- ・生涯学習を牽引するような人材を育成する事業としては「うじ市民活動サポート事業」があり、市民活動を始めたい、広げたいという市民やグループを支援している。毎年、募集と審査を行い、会場の提供や広報協力等のサポートを行っている。その他、年度ごとにテーマを変え、人材育成講座を開催している。
- ・宇治ボランティア活動センター、宇治市福祉サービス公社との共催で、退職後の過ごし方を考えている市民に情報提供し、参加者同士が交流する場として、「はじめよう！セカンドライフ」（2回連続講座）を年2回開催している。また、琵琶地区民生児童委員協議会、おやこころんどサポーターとの共催で行っている「おやこころんど」では、乳幼児や親同士の交流等を目的に、月1回、広い室内で自由に遊び、サポーターが季節に応じて企画する工作や運動を行っている。「宇治市民大学」では、宇治市民大学運営スタッフ会との共催で、年間30回、歴史文学や宇治についての講座を開催している。



宇治まなびんぐフェスタ
楽しいマジックuji



夏休み子ども★わくわくフェア
燃料電池で発電してみよう！

3. 取組による成果や効果

- ・「市民まなびの集い 宇治まなびんぐフェスタ」においては、令和4年度は2日間で35団体からの出展があり686名の市民が参加し、出展者との交流を深め新たな学びを始めるきっかけ作りとなった。「夏休み子ども★わくわくフェア」においては、2日間で19団体からの出展があり、508名の市民が参加した。
- ・「うじ市民活動サポート事業」では令和5年度は、「絵本の読み聞かせ」や「セルフカラーセラピー」、「カリンバ演奏」、「宇治の語り部」の4つの事業が採択された。幅広い層の参加者が想定されるこれらの多様な講座について、「生涯学習情報UJI」やホームページで広く周知している。これらの事業を実施する団体にとって、さらなる活動へのステップアップとなっている。



うじ市民活動サポート事業
ひなのえほん

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ・各講座の実施後にはアンケートを行い、結果を検証し、次回の企画に反映させている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- ・社会や時代の変化に対応し、事業内容や運営方法を工夫して事業を実施することを大切にしている。例えば、令和4年度は、いつでもどこでも学べるように「サークル・地域活動のためのチラシ作り」をテーマとした動画（アニメーション）を作成し、市公式YouTubeチャンネルで配信した。人材育成や多様な主体との連携も大切にしている。



サークル・地域活動のための
チラシ作り（動画配信）

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- ・人と人の対面でのつながりを大切にしながらも、オンライン講座等いつでもどこでも誰でも様々な方法で学べる環境の充実を図りたい。
- ・生涯学習を牽引するような人材を育成する講座やイベントを開催し、まちづくりや地域福祉など多様な分野の活動へ踏み出す市民の後押しをしたい。



はじめよう！セカンドライフ

つどい・まなび・結ぶ公民館

貝塚市立中央公民館(大阪府)

公民館の沿革・年表

- ・昭和28年 貝塚公民館開設 婦人教室、青年教室、クラブ連絡会(現クラブ協議会)開始
- ・昭和39年 高齢者講座「つるかめ大学(現Newつるかめ大学)」開設
- ・昭和50年 保育付き講座「おや子教室」開講(母親の学びの保障として)
- ・平成5年 中央公民館現在地に移転
同年 優良公民館として文部科学大臣表彰受賞
- ・平成10年 第1回公民館大会開催、現在まで11回を数える
- ・平成20年 優良公民館として文部科学大臣表彰受賞



第10回公民館大会事前学習会 佐藤一子さんの講演



第10回公民館大会 牧野篤さんの講演

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

第9回の公民館大会ではオンラインを活用してハイブリットで開催し、和歌山大学村田和子さんとともに「公民館は命綱である」ということを話し合い、実感した。第10回の公民館大会では、事前学習会として佐藤一子東京大学名誉教授をオンラインで迎えて講演していただくとともに、村田和子さんとともに会場の参加者のグループワークに参加してもらい、助言をいただいた。また、牧野篤東京大学教授に来ていただき、地域課題解決に向けた公民館の役割について講演していただいた。

公民館情報		1. 公民館対象人口	42,000人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成5年	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	10台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 6,025人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 28,599人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 8,054人 <input type="checkbox"/> その他 0人 () 合計 42,678人				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 7人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 4人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 7人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (市民文化会館・青少年センター) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (開館当初より「人権」を主軸に講座を開催している。また、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念のとおりに、障がい者、高齢者、若者、子育て中の親など、あらゆる世代の人たちが学び、集える心地よい居場所づくりに努めている。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input checked="" type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 「クラブ協議会」、「貝塚子育てネットワーク」、「岡山市立西大寺公民館」等				

貝塚市立中央公民館

OPEN 9:00~22:00 H P <https://www.city.kaizuka.lg.jp/kominkan/index.html>
 TEL 072-433-7222 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

新型コロナウイルス感染拡大において、公共施設が休館を余儀なくされるなか、公民館の利用者はどのような生活を送っているのか、高齢者や障がい者、子育て世代などが、行き場をなくし、身体的・精神的にも負担を感じていないか確認するため、Zoomを使って近況確認を取ったところ、公民館が単に出向く場所（行き場）ではなく、人と触れ合い、話し合い、学ぶことで自分の生き方を考え、悩みを解決して明日に向かう力を培う場所（生き場）になっていることを確認。オンラインを使用した積極的な学びの提供を進めていった。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

- ・1年に1度、利用者とともに実行委員会形式で「公民館大会」を開催。最近では、コロナ禍で公民館での学びを止めないため、いかにすべきかを利用者とともに話し合い、市内にある山手地区公民館、浜手地区公民館会場の参加者、Zoomでのオンライン参加者と中央公民館会場とをつないで、ハイブリット方式で大会を開催している。また、東京など遠方の講師とオンラインで結んで地域課題（特にコロナ禍での）の解決方法についての講演をしてもらった。
- ・職員と利用者が一緒に公民館の課題やこれからについて話し合う「しゃべり場公民館」を月1回程度開催。昨年、しゃべり場公民館が10年目を迎えるにあたり、持続可能なこれからの公民館のあり方を考えるために、オンラインで話し合いを行った。そのほかの講座でも可能な限りオンライン受講者を募集するようにしている。
- ・高齢者のフレイル予防、QOLの向上などの観点から、高齢者向けの講座において、会場をオンラインでつないで体操や落語鑑賞などの講座を開催した。また、長野県ほか遠方の公民館の高齢者講座受講者同士でオンラインでの交流を図った。
- ・市の高齢介護課と連携し、高齢者のデジタルデバイド解消のためのスマホ教室を開催、また高齢者の健康増進のために体操やノルディックウォーキングなどの身体を動かすための講座を開催。



高齢者講座での交流のようす



Zoom参加者も含めての講座のようす

3. 取組による成果や効果

「公民館大会」での学びなどを通して、公民館がいかに自身や地域の人たちにとって重要な場所であるかを再認識。課題解決のために必要なことを考える機会を増やすよう、市民からの積極的な働きかけも増えてきた。「しゃべり場公民館」では、10年目を迎えるにあたって10年の成果をまとめた冊子を作成しようと市民と協力しながら企画、執筆などを行っている。



しゃべり場公民館10周年

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

5年ごとに「公民館紀要」、1年に1度、「貝塚公民館のあゆみ」という冊子を作成している。ここでは職員が自身の担当講座・事業を振り返り文章にまとめ、次年度への課題も含めて職員全員で考察している。また、公民館運営審議会でも講座や事業の報告を行ない意見を伺っている。今年度は審議会でも討議を重ね、これからの貝塚公民館について諮問答申を行う予定である。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

開館当初より「人権」を軸に講座を開催している。また、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念のとおり、障がい者、高齢者、若者、子育て中の親など、あらゆる世代の人たちが学び、集える心地よい居場所づくりに努めている。公民館での学びが地域に広がり、やがて地域の課題解決へとつながっていけるよう、様々な視点からの学びを提供する努力を続けている。



高齢者と子育て世代の交流

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

これまで貝塚公民館が大切にしてきた「学び」と「つながり」を継続しつつ、公民館の学びがさらに地域に広がっていけるよう、市民とともに考えていく機会を創っていく。また、地域での学びを充実させるために、積極的に地域出前講座やオンラインでの講座を開催していく。



地域の開館を利用した健康サロン

人と文化と郷土をつなぎ、未来を創る学びと交流の拠点

養父市立やぶ市民交流広場(兵庫県)



やぶ市民交流広場の全景



開館記念行事、ハーベストフェスティバルでの結婚式

公民館の沿革・年表

- ・昭和33年 八鹿公民館開設
- ・昭和40年 第1回八鹿文化祭開催
- ・昭和46年 八鹿町文化協会結成
- ・昭和49年 八鹿公民館、八鹿文化会館の新設
- ・平成16年 養父市発足
(八鹿町、養父町、大屋町、関宮町)
- ・令和3年 やぶ市民交流広場開館、八鹿公民館を置く

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

●やぶ市民交流広場は、客席数651席のホールと会議室などがあるホール棟と図書館や和室がある図書館棟とで構成している。建物のほか芝生化した敷地内の広場は、公園スペースとして多くの方に利用されている。

●開館記念行事では、兵庫芸術文化センター管弦楽団(指揮:佐渡裕)のコンサートのほか大学等との連携企画で公募したカップルによる公開結婚式を実施するなど交流の拠点として新たな場所で活動を開始した。

公民館情報		1. 公民館対象人口	9077人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	令和3年9月14日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	10000台
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input checked="" type="checkbox"/> その他 (養父市)				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 300人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 25400人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 8,300人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 20000人 (行政相談、講習会、会議、公用行事等)				合計 54,000人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 9人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 9人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (社会教育委員会)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (ホール) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (ラウンジや図書館棟の自習カウンターは、誰でも自由に使えるように夜10時まで開館。Wi-Fiも整備。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (八鹿高校、関西大学、八鹿文化協会、八鹿地区自治協議会、社会福祉協議会)				

養父市立やぶ市民交流広場

OPEN 9:00~22:00

TEL 079-662-0070

HP <https://www.city.yabu.hyogo.jp/bunka/index.html>

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 人口減少と高齢化は全国の自治体の課題である。養父市では特区活用をはじめとして、市に住むあらゆる人にとって「居心地がよい」、「住み続けたい」と感じられる社会の実現を目指している。
- 公民館の事業は養父市まちづくり計画に謳う“**学びがあふれる教育環境**”に直結し、生涯教育や地域の活力を育むために大きな可能性を持っていると考える。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【活動団体への支援（取組全体）】

養父市では公民館活動をされる団体の支援として、市内4つの公民館の諸室の利用料を減免している。活動団体は、どの公民館の部屋でも1か月に5コマまで無料で利用でき、ホールの利用料も半額を減免している。

【大人向け講座（健康づくり、高齢者の学びの支援等）】

公民館講座の実施により、**日々の暮らしがより充実したものになるよう学び、交流の機会を提供**している。

①高齢者の生きがいとなるもの②若い世代の女性の活力となるもの③働く世代の視野を広げるもの④農につながるもの⑤地域を知り伝統的な文化を継承するもの⑥関係機関と連携することにより効果上がるもの、を実施方針として企画し、春と秋に実施している。

○令和4年度実施「オリジナルのガーデニング講座」、「エアロビクスで健康づくり」、「パーソナルカラー講座」、「ドローン飛行体験」、「押絵教室」、「木彫教室」、「中瀬鉱山探索ウォーキング」、「養父市出身の作家 山田風太郎を知る」、「机の上で多肉植物の寄せ植え」

【子ども向け講座（子どもの体験活動等）】

①家庭や学校ではできない活動や体験②地域の特色を活かしたものや地域を知ることができるもの③自身が体験できるもの④高校生、看護学生など多世代と交流できるもの、を実施方針として企画し、夏と冬に実施している。

○令和4年度実施「和太鼓体験教室」、「夏休み絵画教室」、「やぶこどもクッキング」、「ドローン飛行体験」、「紙ヒコーキをつくって飛ばそう」、「多肉植物でつくるクリスマス飾り」、「みそづくりチャレンジ」



ガーデニング講座



やぶこどもクッキング

3. 取組による成果や効果

- お菓子作り教室、ウクレレサークル、スケッチ教室、ヨガサークル、古文書を読む会、など**公民館講座をきっかけに定期的に活動をはじめの方やグループ**もたくさんある。
- 活動団体は、文化祭や講演会などで成果発表し、**地域の活性化と交流、文化の醸成に寄与**している。
- 文化祭や合唱祭などにおいて、実行委員会形式で企画の段階から**市民協働で文化の高揚**が図れている。
- 地域の高齢者や高校生を講師とした**異年齢での交流**が図れている。



文化祭でのガーデニング作品の展示

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 公民館の活動や事業の計画は年度当初に社会教育委員会に報告して意見聴取し、年度末に実績報告を行うことで事業の改善につなげている。
- 講座のニーズや感想は**インターネットを利用した回答フォーム**により把握し、以降の企画や改善に利用している。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

やぶ市民交流広場は公民館の諸室だけでなく、ホールと図書館を有する複合施設である。開館以降、公民館活動をされる方、ホールで音楽鑑賞される方、図書館で読書される方、芝生の広場で遊ぶ親子など多くの方が来館されている。養父市民にとって、養父市に**この場所があって良かったなあ**、とっていただけるような場所であり続けたい。



やぶ市民交流広場ホール

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

やぶ市民交流広場が新しくできたことで、子育て世代を中心としたダンスサークルが誕生したり、エアロビクス教室など徐々に**若い世代のさまざまな活動**が生まれてきている。ロビーでは中高生が学習や談笑する姿が定着し、若い世代の利用も増えている。今後も、このやぶ市民交流広場が公民館という枠にとらわれることなく、**多くの方の活動の場所**となれるよう成長していきたい。



夏を彩ったアンブレラスカイ

オンラインで「つながる」「学べる」センターへ!

上郡町生涯学習支援センター(兵庫県)



上郡町生涯学習支援センター(外観)



高齢者大学千種川学園 開講式

公民館の沿革・年表

- 昭和57年 上郡町立中央公民館設置
- 平成18年 『上郡町生涯学習支援センター』へ名称変更
- 平成25年 ロビーWi-Fi機器設置
- 令和4年 **全室Wi-Fi対応機器設置**

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

- 上郡町生涯学習支援センター
昭和57年に開設され、社会教育・生涯学習の拠点となっている。町内7つの地区公民館を統括する施設であり、公民館機能のほかに図書館、ホール等も併設されており、**学びや発表の場としても活用**されている。全室にWi-Fi環境を整備している。
- 高齢者大学千種川学園
生きがいづくりや地域貢献を目的に、学園生167名が活動。一般教養講座と専門講座(健康科・文化科)をはじめ、受講生が独自運営するボランティアや3B体操などの14クラブが、活動において当センターを活用。令和5年度は、**学園創立50周年**を迎え、学園生以外の一般の方も聴講できる記念公開講座や記念誌の創刊を予定。

公民館情報		1. 公民館対象人口	13,790人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)		
		2. 建物設置年月日	昭和57年10月15日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	約50台		
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()						
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	5,127人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	24,885人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	885人	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	3,339人 ()	合計 34,236人				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	5人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任	1人	<input type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア協力者	24人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人)					合計 30人	
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()						
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (社会教育委員会)						
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂			
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援			
	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用	<input type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール			
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学			
<input type="checkbox"/> その他 ()							
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ()					
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述	(大ホール(414席)をはじめ、調理実習室や茶室兼用の和室があり、幅広い活動ができる)					
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 大学			
	<input type="checkbox"/> 企業	<input type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関			
	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他			
	(上郡こども園、陽光こども園、プレスクールかみごおり、上郡小学校、山野里小学校、高田小学校、上郡中学校、上郡高等学校、上郡町文化協会、上郡町立図書館)						

上郡町生涯学習支援センター

OPEN 9:00~22:00 H P <https://www.town.kamigori.hyogo.jp/>
 TEL 0791-52-1125 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- スマートフォンやパソコンなどのデジタル機器の普及により、公民館利用者から、インターネットを利用できる環境の要求が高まっていたが、Wi-Fiを使用できるエリアは、ロビーのみで十分に整備がなされていなかった。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、予定されていた事業の多くが中止となり、実施できた事業においても多くが定員の縮小や内容の変更を余儀なくされた。学ぶ機会や学習の継続性を確保するために、オンラインを活用した事業展開が必要となった。
- スマートフォンは、オンライン事業を実施する上で、重要なツールであり、高齢者へ操作方法を伝える場が必要であった。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【デジタル環境の整備（取組全体）】

館内にWi-Fi機器を設置し、利用者が個人の機器でインターネットを利用できる環境を整えた。「高齢者大学千種川学園」の公開講座では、開催場所の大ホール以外に、館内のWi-Fiを利用し、別室でライブ配信することで、三密を防ぎ、安心して聴講できる会場を設置した。

【初心者のためのスマートフォン教室の開催（ICTの活用）】

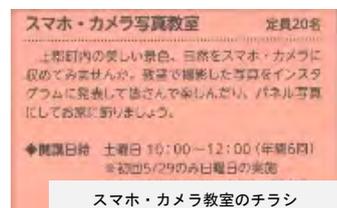
通信業者の協力により、これからスマートフォンを始めたい人、スマートフォンを持っているが、使い方がよく分からない人を対象に、基本操作を学び、使いこなせることを目的とした教室を開催した。

【生活文化講座「スマホ・カメラ写真教室」の開催（ICTの活用）】

スマートフォンをより上手に活用するために、写真館の講師を招き、撮影した写真をInstagramに発表したり、パネル写真にして飾り、楽しんだりする講座を開催した。館内だけでなく、町内の施設で開催されているイベントの様子や自然の風景、夜景などの撮影会も実施した。



オンライン配信の様子



スマホ・カメラ教室のチラシ

3. 取組による成果や効果

- デジタル環境の整備により、学習や調べもの、その他ニュースの閲覧ができるなど、来館者の利便性の向上が図られた。
- Wi-Fiを利用し、別室でライブ配信をすることで、三密を防ぎ、感染症予防をしながら、多くの方が聴講することができた。当日、別の用件で来館されていた方がライブ配信を鑑賞しており、高齢者大学千種川学園の活動を知る良い機会となった。
- 初心者のためのスマートフォン教室では、アプリの追加方法やカメラやネットの使い方等、基本的な操作を学ぶことで、スマートフォンに対する苦手意識を軽減することができた。
- スマホ・カメラ写真教室では、年6回、30～80代の男女15名の受講生が参加され、スマートフォンの応用的な操作を継続的に学ぶことができた。教室終了後は、受講生同士で、館外に出かけ、花火や蛍などの風景を撮影し、楽しみながらスマートフォンを学ぶ様子が見られた。



スマホ・カメラ写真教室

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 月1回開催の館長会で、取組状況について協議している。
- 社会教育委員会において、生涯学習支援センター、地区公民館7館の運営方針や改善方法について検討を行っている。
- 各事業の参加者の感想や寄せられた意見をもとに打ち合わせを行い、次の事業に生かすよう取り組んでいる。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

上郡町生涯学習支援センターは、住民同士の交流や社会教育の中核を担う施設として、町民の立場に立ち、自主的な学習活動を積極的に支援している。また、各種サークル活動の支援やボランティアグループの育成をはじめ、主催事業の充実などに努め、生きがいづくりを推進している。



高齢者大学千種川学園講座

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

生涯学習事業は、これまで対面による学びや体験を基本に事業を展開してきたが、対面とオンラインによるハイブリッドな学習機会を提供することで、若者世代が参加しやすくなる。今後は、地区公民館も同様にインターネット環境を整備し、オンライン講座を開催するなど、若者世代を取り込む事業を展開させていきたい。また、図書館事業では、電子タブレットの導入を検討しており、電子書籍の利用を可能し、利便性の向上を目指したい。

「つながる」公民館と「ひと」と「まち」

天理市立福住公民館(奈良県)



オンラインでつなぐご当地健康体

ZOOMを活用した事業の様子



につぼんZOOMトラベル紀行

公民館の沿革・年表

- ・昭和57年 天理市立福住公民館開設
- ・昭和63年 現在地に新築移転
- ・平成14年 施設増改築
- ・令和 3年 Wi-Fi機器設置
公式インスタグラム開設
公式YouTubeチャンネル開設

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

- 主催事業講座「オンラインでつなぐご当地健康」の模様
令和4年6月と11月に開催した。全国各地の公民館とのネットワークを活用し、**地域住民の交流の場が全国各地との交流の場へと変化**。今までの活動にオンラインを取り入れるきっかけとなった。
- 主催事業講座「につぼんZOOMトラベル紀行」の開催
令和4年11月から開催。全国各地の公民館をオンラインで繋ぎ、互いに観光や文化や歴史など紹介する内容。島根・富山・愛知・福岡・沖縄・愛媛の公民館と開催した。**地元の方がガイド役**となり、天理や福住の魅力発信している。参加者同士の交流もある内容。写真は記念撮影と会場の様子。

公民館情報		1. 公民館対象人口	1100人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和63年	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	18台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 374人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 2681人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 124人			合計	4,721人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 1542人 ()				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人			合計	2人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人)				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂				
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援				
	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール				
	<input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学				
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (公民館区域に小中学校が1校のみで、授業に公民館活動を取り入れた連携。市民活動団体の支援。)				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (災害時には市指定避難所として運用。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学				
	<input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関				
	<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他				
	(やまだこども園、福住小中学校、天理大学、NPO法人奈良ストップ温暖化の会、NPO法人電子自治体アドバイザークラブ、ソフトバンク(株)、人権教育推進協議会、体育振興会、校区区長会、民生委員児童委員会、社会福祉協議会、市立図書館、天理市、教育委員会他)				

天理市福住公民館

OPEN 9:00~21:00

TEL 0743-69-2001

HP 天理市立福住公民館/天理市 (city.tenri.nara.jp)

SNS fukusumiclc (Instagram)



FUKUSUMICLC



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

●福住地区は中山間地域に位置し、若年人口の流出による少子高齢化（高齢化率47.2%令和2年10月）が進む中で、地域のつながりも薄れつつある。さらに、コロナ禍に於いては、人と距離をおく社会に変化し、地域や公民館活動にも多大な影響が生じた。また、デジタル情報社会が急速に進み、情報だけでなく、医療や決済システムなど今後ますます**生活の中で特に高齢者の方にも不可欠なツール**だと考え、**新たな学びのきっかけやデジタルデバイドの解消**となるよう目指した。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【ICT技術や情報ツールの活用】

■公式インスタグラムのDM機能(ダイレクトメッセージ)を通じて、全国各地の公民館とのネットワークがあった。公民館のネットワークとZOOMを活用した、講座を企画し開催した。

●講座「にっぽんzoomトラベル紀行」の開催 **オンラインを身近に感じていただく仕掛け**
互いの地域の文化・観光・歴史など紹介しあう内容。地元で活動されている方などによる現地ならではの話や情報など、スクリーンを見て楽しみながら旅行気分でもなぶ。観光ガイドマップやお土産も送るあい参加者に配布。令和5年9月には北海道から沖縄県まで全地方9館と開催。公民館に「人がつどい、つながり、まなぶ」そしてオンラインにより「公民館と、まちとひとが結ばれる」自然な流れの中でのデジタルツールを体験。興味関心を持たれた方々からの相談に応じ、個別でインスタグラムやマイナンバー、天理市デジタル地域通貨などアプリのインストールや基本操作方法について職員がスマホコンシェルジュとなり対応。

■デジタル機器を活用した新しい公民館活動のカたちづくり

●動画による「福住公民館まつり」の開催 **新たなチャレンジと地域のつながり**
コロナ禍でも開催を実現させるため、みなさんと一緒にできることからはじめた。利用団体の舞台発表を中心に動画での開催に向け、撮影や編集作業においても一緒に行って進めた。動画の特長を活かし、ビデオ片手に地域を周り、店舗や下校時の生徒など多数の住民の方々にもメドレー形式でメッセージ出演いただいた。



「にっぽんzoomトラベル紀行」の様子



動画上映の様子

3. 取組による成果や効果

●新しい学びの手法としてオンラインを取り入れることにより、これまで公民館と関わることが少なかった方の参加もあった。介護や高齢などが理由で遠方にいけない方が、「公民館で旅行に行けた」と喜ばれる機会にもなり、参加者数が常に多い主催事業に定着した。

●参加者がオンラインを体験し身近に感じてもらいながら、興味関心をもつ『キッカケ』の機会となった。

●地元の文化・観光・歴史などの魅力を再発見し、あわせて、地方のまちづくりや文化継承をまなぶ機会にもなっている。

●テレビ・新聞掲載・ラジオ出演により、『公民館活動』と『地域』を発信する機会になった。



参加者同士によるZOOMの会話を体験



4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

●すべての講座において参加者からの聞き取り調査を実施し、次回以降の改善に生かしている。

●社会教育・生涯学習関係者および地元各種団体等で構成される公民館運営審議会での実施報告により、講座の内容や運営方法を改善し計画に反映している。（年間1回開催）生涯学習推進委員会および公民館自主クラブ等で構成される会議において、要望などを聞き公民館運営に反映している。（年間4回開催）

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

●地域の方に寄り添いながら信頼関係を築き、人の絆を大切にしながら、支え合うまちづくりを目指し、人と人のつながりの中でまなびを創出する。社会のニーズに合わせながら『新しいカタチ』にチャレンジし、地域とともに持てる力を発揮し、協働しながら汗をかいていくこと。

●**誰もがまなぶ事ができる場所**の担うべき役割を常に考え行動し、目標を持って取り組むこと。



公民館運営についての協議

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

●色々な方の思いをカタチにするためのつなぎ役として、専門性のある天理大学教授や学生と連携し、助言や協力を受けながら、これからの公民館運営に向けた体制づくりを目指している。

●公民館のネットワークとオンラインを活用し、子ども交流講座等の開催や地域活動団体の相互交流、公民館活動で同じ学習をされている方をつなぎ、**新たな公民館活動**を目指す。



体育学部生による体力健康講座



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

明治地区は鳥取市の南西部に位置し、360度山々に囲まれた中、1,000m級の名山高山を源流とする野坂川流域に13集落が点在する古くからの景観がそのまま残る自然豊かな地域である。近年は住民の少子高齢化が進み、地域産業である農業が衰退し、伝統文化の継承も難しくなり人々の交流が希薄化傾向にある。これらを念頭におき、自然豊かな美しい**地形の良さや魅力を知り、他地域にはない地域独自のアイデンティティを高めるには何をしたらいいか？**さらに**地域衰退に歯止めをかけ、かつ地域を活性化**するにはどうしたらいいだろうか？**住民の意見を取り入れながら地域振興と人々の交流を豊かにしていく事業に取り組むこととした。**

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【活動1 軽トラマルシェ】

地元で採れた野菜を地元のお客さんに販売する「**地産地消**」を振興するため、**野菜生産者が採れた野菜や花苗を公民館に運び、軽トラの荷台を露店にし住民に販売する。**

工夫した活動

①野菜生産者を集め、出店希望者を募った後、野菜の種類、値段などについて出店者準備会議を開催（市場より安価で、市場に出せない規格外の販売可。また50円刻みの価格と他の出店者と品物が重なった時の価格設定について等の協議）②毎月、出店者の募集と開催日の広報（チラシ・地区内放送）③**児童による販売体験日を設け、職場体験と生産農家や買い手との交流の場とした。**

【活動2 森林ウォーク in 安蔵】

安蔵地区は山陰海岸ジオパークエリアに含まれ、市民の憩いの場となっている。四季折々に変化する山々の姿は美しさの極みである。明治郷づくり協議会の自然環境地域活性化部会は、全山紅葉の中、健康増進をねらう『森林ウォーク in 安蔵』を開催。平成26年から令和5年で10回を数える。

工夫した活動

①多くの人に澄み切った空気と美しい景観を知り味わってもらえるよう、体力に合わせて選べる3km、5km、7kmの3コースを設けている。②ウォーク終了後の**楽しみと交流の場として、地元野菜の入った豚汁弁当での会食を開催。**また完歩者には、抽選で地元の農産物をプレゼントしている。



児童も販売呼びかけに協力



森林ウォーク後の豚汁弁当

3. 取組による成果や効果

【活動1 軽トラマルシェ】

①出店者5～10店、買い物客20名～50名程度。**近頃は地区外からの来店者も増えてきて、賑わいをみせている。**②ナツメ、グミ、ジュンベリー、ポポー、ムカゴ、コゴミ、ゼンマイなどスーパーの野菜売り場に陳列されていない、**ここならではの農産物の販売もある。**③マルシェの盛況ぶりとともに**児童の販売意欲と地域への関心が年々増している。**④『久しぶり、元気？』『うちはこれで〇〇を作るで』『どうやって作るだあ？』などと、**月1回のマルシェが地域産物の振興と地域住民の交流につながっている。**

【活動2 森林ウォーク in 安蔵】

①参加者は70～100人。歩いた後の秋の高原地で食べる豚汁は絶品！と好評。
②行事案内を市報等に広報していることもあり、地区外の参加者が年々増えている。



収穫した梅を計量したりポップを描いたりして小学校の梅林の梅を販売する児童

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

①事業の計画から運営まで住民参画の事業になっている。
部会→実行委員会→実行→反省会→改善案の実行
②部会で事業内容を決定、実行委員会で役割分担、部会で反省を行う。
PDCAサイクルで実施。10回目を迎えることになった。



軽トラマルシェ準備会

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

公民館事業は、心豊かな人々の暮らしと地域の活性化に結び付く事業を考えている。
これを実現するためには、**地域の人々の声に耳を傾け、地域課題や要望を明確にし、課題解決に結び付けていく事業を考えることが大切である。**また、**郷土愛を育むには、子どもたちが幼年時代より地域の事業に参加したり、地域の特色を知ったりすることが大切と考える。**



販売野菜を使った調理のレシピを配布する児童

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

これまでの事業を展開しつつ、課題やニーズに対応するため、**地域の資源や人材を知り、活用した事業（地域の産業に結びついた事業）を考え、地域力の底上げにつなげたい。**また、**日本遺産【麒麟獅子舞】など地域文化を大切に思い、次世代に継承していくための組織づくりとその活動支援をしていきたい。**

老若男女問わず**地域の誰もが主役になり、笑顔で活力ある地域づくり**に取り組んでいきたい。



地区内の3体の麒麟獅子を一堂に展示

中学生SALON～ゆるく楽しく繋がるサードプレイス～

邑南町中野公民館(島根県)



中学校技術室での中学生SALON



中学生SALONで今後のやりたいこと作戦会議

公民館の沿革・年表

- 昭和44年
中野公民館開設
- 平成6年
勤労青少年ホーム（現中野公民館）開設
- 平成25年
島根県教育委員会教育長表彰 受賞

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

- 【中学生SALONの様子】
放課後に中学校の技術室を借りて、6公民館の主事がボードゲームやモルック等を持参し、中学生と体験しながら親睦を深めている。月に約1、2回のペースで開催しており、時間があえば地域の方もお誘いし、参加してもらっている。小中学校と切れ目のない社会教育活動を目指して運営している。
- 【夏休みの中学生SALONの様子】
夏休みに中野公民館にて開催。ボードゲームを楽しむだけでなく、今後の中学生SALONでやってみたいことを話し合った。その結果、「ボードゲームづくり」と「中学生SALONのロゴづくり」、「地域のお祭りに中学生SALONとして出展する」などの意見があり、それぞれやりたいことを実施に向けて取り組んだ。

公民館情報		1. 公民館対象人口	1439人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成6年4月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1157人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 8675人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 600人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				合計 10,432人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 職員のうち社会教育士の数 1人) 合計 3人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input checked="" type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> 自由記述 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (東保育所、石見東小学校、石見中学校、矢上高校、邑南町役場、邑南町教育委員会、自治会、親和会、明日の会、中野地区社協、商工会中野、体協中野支部、石見東児童クラブ)				

邑南町中野公民館

OPEN 8:30~17:15

HP

TEL 0855-95-0310

SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 今までの公民館事業に中学生対象事業がほとんど無く、小学校を卒業すると公民館や地域行事との関わりが希薄になってしまっている現状があり、小中一貫したアプローチができていない状況にあった。
- 中学校区公民館で連携した事業がほとんど無かったため、複数館で協働し持続的、発展的に取り組む事業の必要性を感じていた。
- 中学校の校舎の建て替えが予定されており、新校舎では教科センター方式が採用され地域連携室の設置が予定されるなど地域の方が学校を利用することも想定されている。ハード面が完成する前に試験的に中学校の教室を利用し事業を実施することとした。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【中学生SALON（中学生のサードプレイスづくり）】

上記の課題から、現在では6公民館で中学生SALONの運営に取り組んでいる。

当初、中学生を対象にした事業を考える際、単発ではなく継続的に実施し、中学生との関係を構築することが必要と考えた。そこで、各主事と協議し、中学生の①居場所づくりと②様々な人との交流、③自己実現のお手伝いを目標に事業を展開していった。

特に力を入れている活動は中学校の技術室を借りて放課後に実施する「中学生SALON」で月1、2回のペースで開催している。内容は主にボードゲームやモルック等を体験しながら雑談をするものであるが、会話の中から中学生のニーズなどを汲み取って、次回の内容に反映させている。実際に令和4年度に、キャンプがしたいという声があり、夏休みにデイキャンプを実施した例もある。中学生のやりたいことを主に常に流動的に対応しながら事業を行っているのが特徴的な1つである。

地域課題解決の活動としては、地域のお祭りを盛り上げようということで中学生SALONとして何かできるか中学生と一緒に考えた。そこで、普段行っているボードゲーム等を参加者に体験してもらいブースを設置することになった。また、そのブースにて中学生SALONグッズを作成して販売することになった。残念ながらその祭りは新型コロナウイルスの影響で中止となってしまったが、中学生SALONグッズとして中学生自身がロゴデザインを考えたTシャツを作製した。中学生SALONがある時などに公民館主事が着用している。



デイキャンプでの火起こしの様子



中学生デザインのロゴTシャツ

3. 取組による成果や効果

【中学生SALON】

- 中学校に行く機会が増え、生徒と話す機会が増えた。中学生からすると気軽に話せる地域の大人が増えた。
- 中学生の成長を感じることができた。（最初は全く会話をしない子が数を重ねるごとに名前を呼んでくれ会話も弾むようになった。）
- 参加した中学生が友達を連れて来たり、常連の子ができたりと輪が広がっている。
- 教頭先生の話だと不登校気味の子が中学生SALONがあることで、登校することがあるという話があり、居場所づくりにもなっている。
- 公民館同士の横の繋がりが増え、他地区の行事や団体との繋がりが増えた。地区外、町外のイベントに「中学生SALON」として出店依頼されるようになった。
- 中学生SALONに参加している子に地域行事への参加の声がけをすると参加してくれるようになった。



地域のお祭りに参加

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 学校教育・社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う人、学識者等12名で構成する公民館運営審議会を年間1回開催。
- 地区出身の町議会議員や各自治会長、各種団体の会長等16名が委員である公民館活動推進協議会を年5回開催している。
- 活動の振り返りの中で課題や改善点等について話し合い、多様な意見をふまえながら改善を行い、公民館運営を行っている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

やってみたいことや挑戦したいこと。こうなったら楽しそうだなということを主体的に実現できるようにお手伝いしたいと考えている。

また、地域の様々な人や組織を繋げて多種多様な活動が生まれるよう仕掛けたいと考えている。ひいては地域への愛着、住民自治や相互扶助に結びつくことが大事。



中学生が考案した自己紹介ボードゲーム

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

現在、中学生を対象に中学生SALONを行っているが、高校生、大学生、社会人と多世代で交流が生まれるような空間ができればと考えている。また、町内3中学校間の交流がほぼ皆無なため他校生との交流事業も企画したい。町内に居住している外国人の方たちとの異文化交流なども実施できればと考えている。多くの人生のロールモデルに出逢うことが子ども達の将来にきっと役立つと考えているからである。



国際交流クラブの方達と中学生SALON

マジで頑張る 安城！

安城まちづくりセンター(島根県)



「マジスクール」の様子

公民館の沿革・年表

- 平成14年 安城公民館(弥栄会館内) 設置
- 平成25年 島根県教育委員会教育長表彰受賞
- 平成27年 放課後子ども教室「マジスクール」開始
- 令和3年 公民館からまちづくりセンターへ移行

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

- 「マジスクール」の様子 ※上部
 - ・毎週月曜の放課後の時間に実施している「マジスクール」に、地区の小中学生が参加し、学校の宿題等をして過ごす。地域住民がボランティアとして指導や見守りを行っている。
- 町内の広報紙「弥栄町みらい便り」 ※下部
 - ・情報発信として、毎月「弥栄町みらい便り」を、杵束まちづくりセンター、弥栄のみらい創造会議と合同で作成、発行している。市のホームページや弥栄のみらい創造会議のFacebook等からも閲覧できるようになっている。



弥栄町の広報紙 「弥栄町みらい便り」

公民館情報		1. 公民館対象人口	633人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和58年10月31日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	無し
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input checked="" type="checkbox"/> その他 (浜田市地域政策部まちづくり社会教育課)				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 827人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 1,753人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1,530人 合計 4,976人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 866人 (地区まちづくり推進委員会関係会議等)				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 1人) 合計 3人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input checked="" type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (弥栄会館 (多目的研修集会施設)) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (弥栄のみらい創造会議、浜田市役所弥栄支所、浜田市社会福祉協議会、島根県立大学、浜田医療センター附属看護学校、食生活改善推進協議会弥栄支部、弥栄女性の会 等)				

安城まちづくりセンター

OPEN 8:30~17:15 H P
TEL 0855-48-2917 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- ・弥栄町安城地区は、高齢化率が50%を超え、少子高齢化が著しく、若者の担い手の確保や福祉、教育、産業等のあり方などが課題となっている。同時に、地域住民が主体的に地域活動に関わっていく機運の醸成や仕組みづくりも必要である。
- ・令和3年度に弥栄町内の2つの地区まちづくり推進委員会を統合して「弥栄のみらい創造会議」を設立した。今後、まちづくりセンターと弥栄のみらい創造会議が連携・協働し、地域の人づくり・まちづくりが推進され、地域が活性化していくことが期待される。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【地域の朝市「や市」（多世代のまちづくり参画）】

毎月第3日曜日に、弥栄のみらい創造会議が中心となって地域の朝市「や市」を開催している。地域内外からの出店、出し物等、様々な活動を行っている。まちづくりセンターは事務局として関わりながら、出店者の呼びかけや実施のサポート、住民への情報提供等を行っている。子どもまちづくり委員会のブースもあり、子どもたちの活躍の場となっている。子どもたちは、出し物の企画や準備をし、当日は来場者の接客などを行っている。まちづくりセンター職員は、準備段階から活動のサポートに入り、子どもたちの思いの実現に協力している。や市の情報は、弥栄町みらい便りや、Instagram、Facebook等で発信している。

【マジスクール（子どもの居場所・勉強の場所、地域住民の知識・技能の活用の場）】

地区に学習塾がないことや、小中学生の放課後の居場所づくり、学習習慣の定着を目的に、平成27年に放課後子ども教室「マジスクール」を開校した。「マジスクール」というネーミングは、「マジ（本気）で勉強するところ」という意味で、地域住民の間でも定着している。地区に住む約半分の子どもたちが、学校の宿題や漢字検定に向けた勉強など、自主学習に取り組んでいる。Iターンの弥栄在住者や学校支援員などが、各自の得意分野を活かしながら子どもたちの指導や見守りに当たっている。学習後、子どもたちは、自由遊びや「や市」の出店の準備などをし、交流を図っている。



「や市」子どもまちづくり委員会の輪投げコーナー



マジスクール

3. 取組による成果や効果

【地域の朝市「や市」】…（年間延べ来場者1,280人）

- ・地域内外の「ひと・もの・こと」をPRする機会となっている。
- ・地域内だけでなく、地域外からの来場者もあり、活気が出てきた。
- ・子どもたちにとって、やりたいことを実現する場や異年齢の人と交わる機会となっている。
- ・子どもが関わることで、保護者がフリーマーケットを開くことにつながった。

【マジスクール】

- ・地域住民の知識や能力を発揮する場となっている。
- ・まちづくりの取組（「や市」と連動した活動となっている。



「や市」の様子

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ・令和4年度は年間75回、弥栄のみらい創造会議に関する会議（各部会を含む）が開催され、まちづくりセンターも事務局として運営の支援を行った。現状や課題の把握、活動の振り返りや改善策の検討など、PDCAを意識した運営を行っている。
- ・毎回「や市」終了後は、出店者の感想をまとめ、次回の実施に活かしている。…※別紙「開催記録」参照
- ・毎月、弥栄地域まちづくりセンター連絡会を開催し、支所や小中学校、教育委員会と情報交換等を行っている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- ・ALL弥栄として、弥栄町全体で協力しながら活動する。
- ・地域住民が気軽に相談や提案を持ち掛けやすい存在になる。
- ・地域住民と日頃からコミュニケーションを図る。



地区まちづくり計画
「生きる術のある町 弥栄」

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- ・地域住民が気軽に立ち寄れるセンター…喫茶コーナー開設、サークルの日を活かす
- ・子どもの存在を大切にする…子どもが主体である事業、子どもが参画者となる事業の実施
- ・弥栄のみらい創造会議が自走できるためのサポーターとしての存在…保護者世代をターゲットに、まずは「楽しむこと」をポイントに始めてみる。



「や市」に向けて準備だ！

つながる公民館！

奈義町公民館(岡山県)



お囃子体験会



みんなが主役・一世帯一作品展

公民館の沿革・年表

- ・昭和30年 2月 奈義町発足
奈義町公民館設置条例施行
奈義町公民館設置
- ・昭和60年10月 奈義町文化センター竣工
- ・昭和60年11月 奈義町文化センター開館
奈義町文化センター設置及び管理等に
関する条例施行
奈義町教育委員会社会教育課設置
- ・平成13年 4月 奈義町教育委員会生涯学習課設置

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

【上の写真】町の伝統芸能「横仙歌舞伎」の保存会と、和太鼓サークル、子ども歌舞伎教室生による、お囃子体験会。歌舞伎のお囃子を通じて、青年層から高齢者、また幼小中学生、高校生までもが参加出来る体験会を実施。その後、歌舞伎公演で発表。

【下の写真】毎年、町内全19地区より、各世帯から絵画や写真、木工芸やプラモデルまで、自慢の一品を全館を使って展示する「一世帯一作品展」。

作品展示を通じて、文化振興と地域活性化が出来る、町で一番人気の文化展。

公民館情報		1. 公民館対象人口	5732人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和60年10月31日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 345人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 245人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 4,350人 合計 4,940人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 3人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア協力者 20人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 25人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (コミュニティ施設、老人福祉施設) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (中央東幼稚園、滝川つくし幼稚園、奈義町保育園、奈義小学校、奈義中学校、岡山理科大学、岡山大学、奈義町立図書館、奈義町現代美術館、なぎピカリアミュージアム、奈義町文化協会、横仙歌舞伎保存会、東山工業会、社会福祉協議会)				

奈義町 奈義町公民館

OPEN 9:00 ~ 22:00 H P
TEL 0868-36-3034 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

本町は、平成17年の「平成の大合併」時に住民投票を行い、合併しない道を選び、現在まで様々な政策を打ち立てながら行政を進めている。しかしながら、過疎化による人口流出や高齢化による人口減少に歯止めを打つことは難しく、平成17年当時6,500人居た人口も5年で500人近く減少した。こうした中、本町では、平成24年に子育て応援宣言を宣言し、以来、**合併していない小さな町ならではの特性を活かしたまちづくり**に努めている。公民館が行っている事業も、**小さな町ならではの地域活性化と文化を活かした異年齢交流**等を通して、住みやすい町づくりに努めている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【「地方の小さな町に住んでいても様々なことが身近に学べる町づくり」】

- とも歌舞伎教室…地域に残る伝統芸能「横仙歌舞伎」について、地元、横仙歌舞伎保存会の指導により、歌舞伎を通じて、異年齢交流や**地元について知り、郷土愛を育む**。毎年、11月の秋の横仙歌舞伎大公演に出演し、本格的な歌舞伎を演じている。（対象：小学生～中学生）
- 一世帯一作品展…奈義町内の19地区に呼びかけ実施している展示会。各世帯から絵画や書、模型や写真など、その年に制作した自慢の一品を公民館の全部屋を利用して一週間展示。**作品の鑑賞や展示を通して、様々な地区の交流**が出来る、本公民館で一番人気の展示会。
- 本物に出会える事業…**地方の小さな町に住んでいても、大きな都市部と同じような文化・スポーツの体験、トップクラスのプレイヤーにふれていただける機会**を地方創生推進交付金事業等を活用し、実施。（オーケストラやプロの演奏家による演奏会、元オリンピック選手による指導、講演会。）
- 国際理解教室…国際交流員等を講師に迎え、グローバル化が進む社会に対応するため、アジアやヨーロッパ等の異文化の生活、**文化や考え方について学び、様々なことに理解を深める**。
- 関係人口構築事業…近隣の理科大学の生徒達と地域の方が、当町にある自然史系**博物館の運営を通じて関係性を育むことで、地域の活性化と、将来、学生たちが本町と何らかの関係**を持ってくれるための事業を行っている。
- 時代やニーズに合わせた教室の開催…パソコンやスマホ、サブカルチャー等、従来の教室にとらわれず、性別や世代の意見を取り入れた教室を開催している。



とも歌舞伎化粧教室



国際理解、グローバルイングリッシュ教室

3. 取組による成果や効果

本町の子育て応援宣言を主とした長年にわたる政策が実り、令和元年度に合計特殊出生率が2.95となり、令和4年度にはわずかであるが人口が回復しつつある。公民館においても、事業や運営を通して、**元々地元に住んでいる方と新しく転居されてきた方とを上手くつなげるシステムを構築**していく取り組みを増やしているため、利用者に新しい顔が多くみられるようになった。特に、異年齢交流や異文化交流では、対象となる方達以外にも、保護者や関係する方達をどんどん巻き込んでいけているので、**人と人とを結んで、安心して暮らせる地域づくりにつなげていきたい**。また、**時代のニーズに合わせたサブカルチャーの教室や展示会を行う**ことで、今まで利用の少なかった青年層の利用者も増えてきた。



親子でプラモデル教室

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

ほぼ全ての事業に対しアンケートを取り、集計結果を公民館職員や関係者等で共有し、また、随時開催している公民館運営協議会で検証し、意見を取り入れ改善を行っている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

利用していただくにあたり、**特に利用者にとって敷居が低く、気軽に利用できる公民館**というイメージを大切に運営している。例えば、職員と利用者が身近で、何でも相談してもらえるようにしている。このように、他愛もない会話から大事なことや、信頼関係が生まれるので、**公民館職員には高いコミュニケーション能力が必要**であると感じている。



ボランティアによる、作品展示作業

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

コロナ禍が明け、公民館の制限が無くなり、利用や行事も4年前と全く同じになった。また、コロナ禍でも創意工夫しながら活動を続けていたため、幸いにも活動中止となる教室が無かった。今後も、利用者を主体としながら、職員が現在求められていること等、情報収集し、利用者と共に、町づくりの中心となるような公民館運営に努めていきたい。



利用者によるロビーコンサート

保護者と地域をつなげる公民館

瀬戸内市長船町公民館(岡山県)

公民館の沿革・年表

- 昭和47年 長船町中央公民館開設
- 平成9年4月～「うさぎの学校」講座開始
- 平成16年11月1日 牛窓町 長船町 邑久町が合併瀬戸内市になる
- 平成16年11月 瀬戸内市公民館条例設定
- 平成16年11月 瀬戸内市長船町公民館に名所変更

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

- 「うさぎの学校」の模様
親子で遊びを楽しむ中で、保護者同士のつながりや、地域と保護者とのつながりをつくる公民館主催講座「うさぎの学校」。月に1回開催し、体操や絵本の読み聞かせなどいろいろなことを行っている。
- 「うさぎカフェ」の模様
保護者がお茶を飲みながら育児について話をしたり、ほっと一息ついたりできる時間となっている。



「うさぎの学校」の様子



「うさぎカフェ」の様子

公民館情報		1. 公民館対象人口	37000人	3. 来館者のインターネット接続環境	無し			
		2. 建物設置年月日	昭和47年4月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数				
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()							
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	5965人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	27504人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	430人	合計	41,757人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	7858人 ()						
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	5人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任	1人	<input type="checkbox"/> 非常勤	0人	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者	0人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人)				合計	6人		
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()							
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()							
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂				
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援				
	<input type="checkbox"/> ICTの活用	<input type="checkbox"/> 防災	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール				
	<input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学				
	<input type="checkbox"/> その他 ()							
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 学校	<input type="checkbox"/> 生涯学習センター				
	<input type="checkbox"/> 自由記述 ()	<input type="checkbox"/> その他 ()						
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 大学				
	<input type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関				
	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他				
	<input type="checkbox"/> NPO法人瀬戸内DearChildren.みつけ 瀬戸内市こどもひろば 長船町図書館 <input type="checkbox"/> 瀬戸内市菊づくり推進する会							

瀬戸内市長船町公民館

OPEN 9:00～21:30

T E L 0869-26-2501

H P <https://www.city.setouchi.lg.jp/soshiki/59/>

SNS <https://www.facebook.com/setouchishi.kouminkan/>





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

瀬戸内市は、平成16年に岡山県牛窓町、邑久町、長船町の3町が合併して誕生した市で、岡山県の東南部に位置し、人口約37,000人で豊かな自然と歴史に彩られている。しかし、人口は平成12年をピークに減少に転じており、少子高齢化が進んでいる。また、核家族化も進み、**子育てに不安を抱えている保護者も多い**。また、**保護者同士のつながりや、保護者と地域の関わりも減少し、子育ての悩みを相談できる場や相手がいないことが課題**となっている。そのような状況を受け、地域全体で子どもの成長を支える役割や、保護者同士をつなげる役割、保護者と地域をつなげる役割を公民館が担うことが求められていた。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【「うさぎの学校」(家庭教育支援)】

平成9年に、公民館職員と地域の保護者有志3名が未就園児とその保護者を対象として子育て支援を行う「うさぎクラブ」(現在の「うさぎの学校」)を立ち上げた。学校と同じような流れになっており、「歌」「体操」「絵本」「自由遊び」などの活動と季節に合わせた「主な活動」を組み合わせて月に1度実施している。**親子で触れ合いながら活動することや、活動を通して保護者同士のつながりをつくることを大切にしている**。年度末には出席カードを使った修了証書を渡し、**学びの足跡を感じられるようにしている**。

●「うさぎカフェ」

平成26年の「うさぎの学校」の反省会で「保護者同士が気軽に育児相談をしたり、悩みを打ち明けたりする相談の時間があつたら良い」という提案があり、**保護者がお茶を飲みながら育児について話をしたり、ほっと一息ついたりできる時間**として実施している。

●移動図書館による本の貸し出し

「未就学児にも同じように体験の場を与えたい」「本に興味や関心をもつきっかけになれば」という思いから、保育園・幼稚園に毎月1回巡回し絵本の貸し出しをしていた移動図書館「せとうちまー号」を**公民館職員自らが運転し、うさぎの学校参加者に絵本の貸し出しができるようにした**。



「うさぎの学校」の様子



移動図書館による本の貸し出し

3. 取組による成果や効果

「うさぎの学校」は今年で27年目を迎えた。「お兄ちゃんが参加して良かったから下の子どもも参加した」というような声も多く、**参加者のリピート率も高い**のが特徴である。講座最終日に「子どもとの触れ合い」「他の保護者との情報交換」について尋ねたアンケートでは、**いずれの項目も約8割の参加者が満足した**と回答している。このようなことから、「うさぎの学校」が**地域の子育てを支える重要な場**となっていることが伺える。

また、**参加した保護者が次の指導者となり活躍するなど、学びの好循環が生まれている**。活動の中心となっていた保護者のグループは、現在はNPO法人を設立し、「うさぎの学校」だけではなく、市内の保育園、幼稚園、小学校などで「おはなし会」や「人形劇」等を行うなど活動範囲を広げ、**市内全体の子育て・家庭教育支援の充実につながっている**。



参加者が次の指導者となる好循環が生まれている

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

「うさぎの学校」の目的である「子どもとの触れ合い」「他の保護者との情報交換」を中心に参加者へアンケートを実施し、活動の見直しへとつなげている。**公民館職員、スタッフによる反省会で、成果と課題について話し合うとともに、新たな活動が提案され、活動が見直されている**。公民館全体の運営について協議する公民館運営協議会で、出された意見や議論をもとに事業を見直し、翌年度の事業や中期的な事業計画の策定に活かしている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

人口減少や少子化、家族形態の多様化により、保護者同士や地域のつながりが希薄になる傾向があり、子育てや育児に困っていても相談する相手がいなかったり、相談する方法が分からない保護者が増えている。そのような状況で、「つどう・まなぶ・むすぶ」身近な学習施設である**公民館が、地域全体で子育ての気運を醸成する役割の一端を果たす必要がある**と考えている。



保護者同士をつなげる

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

少子高齢化、地域のつながりの希薄化等が進む中、地域全体で子どもの成長を支える取組の重要性は増してきている。これまででは、未就園児を対象として「うさぎの学校」を実施してきたが、**対象を小学生まで広げて遊び場や居場所も提供できるようにしていきたい**。また、市内の他町の公民館や子育て支援センターなどでの実施も検討しており、**地域ぐるみで子育て支援するしくみをつくり、子育て支援者の拡充を図りたい**。



対象や開催場所の拡大を検討中

”あと”に残したいホタルと住民のかがやきプロジェクト！

広島市阿戸公民館(広島県)



ホタルのクイズ



ホタルの幼虫放流

公民館の沿革・年表

- ・平成13年4月 阿戸公民館だより(第1号)発行
- ・平成13年5月 阿戸公民館開館
- ・平成14年8月 自然環境体験セミナーの前身「水辺の教室」がスタート
- ・平成18年4月 指定管理者制度導入
(制度導入時の財団を合併し、平成26年4月～現在(公財)広島市文化財団)
- ・平成28年6月 第1回ほたる祭り開催

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- ほたる祭りにおける「ホタルのクイズ」の様子(左上)
ほたる祭りに集まった地域の方にホタルを知ってもらうため、ホタルについて学んだことを基に、小学生がクイズを作成しました。
- ホタルの幼虫を放流している様子(左下)
来年もたくさんホタルに会えますようにと願いながら、飼育した幼虫を川で放流しました。

公民館情報		1. 公民館対象人口	1905人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成13年5月13日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	おおむね10台
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (公財) 広島市文化財団 <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 5421人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 3909人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 合計 14,612人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 5282人 (<input type="checkbox"/> ピー等の個人利用)				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 3人				
8. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (防犯、平和教育、芸術活動支援、伝統芸能保存、環境学習、国際理解)				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (児童館に隣接し、年間を通じて連携した事業を実施している。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (阿戸認定こども園、阿戸小中一貫教育校、阿戸小中PTA、公民館学習グループ、阿戸児童館、瀬野川ホタルの会、安芸区地域起こし推進課、安芸区農林課、安芸区地域支えあい課、阿戸学区自主防災会、阿戸町女性会、安芸区民文化センター、阿戸町老人クラブ、里山あーと村運営協議会、熊野東防災交流センター、阿戸地区社会福祉協議会、阿戸地区防犯組合)				

広島市阿戸公民館

OPEN 8:30~22:00
TEL (082)820-8222

H P <http://www.cf.city.hiroshima.jp/ato-k/>
SNS <https://www.facebook.com/atokouminkan>





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

阿戸地区は、広島市内の中山間地域にあり、山林や農地など自然資源が豊富である。一方で、これまで豊富な自然資源を地域づくりに活用することがほとんどなかった。併せて、少子高齢化が進む中で、新旧の住民が交流し活動するといった、地域住民の一体感を醸成する場が少なかった。また開館時から、公民館が中心となり、阿戸地区内の豊かな自然環境を活かした講座等を環境学習の一環として進めてきていたが、阿戸地区よりも、地区外からの参加者の方が多いこともあった。

公民館では、自然環境体験セミナーとして地元の小学校と協働で進めているホタルの学習をベースとした「竹あかり&ほたる祭り」への参画や、伝統芸能である「盆踊りとまつり囃子」の継承活動を支援し、**地域住民との協働作業を行い、学童期から地域を知り、子どもから大人まで参加できる住民の交流を促進**している。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【ほたるの学習から「竹あかり&ほたる祭り」へつなげる】

公民館が中心となって、小学4年生を対象とした総合的な学習の時間に「ホタルの学習」を行うと同時に、竹を活用したランプシェードづくりを主催した。それらを、地域の実行委員会が主催する「竹あかり&ほたる祭り」にあわせ、地元の子どもたちが参加し披露する場を提供している。また、この祭りを古くからの住民のみならず、比較的若い世代と協力して行えるよう、**公民館が中心となって、まちづくりに関わる新規人材を発掘するとともに、住民の交流の場を提供**している。こうした取組の結果、小学校区にある「おやじの会」など有志の団体だけでなく、ランプシェードづくりの支援を担当した地域の企業も広く運営者として参画する等、活動の主体に広がりが見られている。



ほたる祭りを盛り上げるスタッフ

【伝統芸能の継承活動～盆踊りとまつり囃子で紡ぐ郷土愛～】

阿戸地区では、古くからの住民や地元保存会が中心となって、祭りや伝統的な行事が行われている。公民館においても、まつり囃子を中心とした伝統芸能の継承活動の支援を公民館事業として実施している。地域における伝統芸能の発表の機会である地域内の行事（夏祭りや神社の大祭、町民まつり等）の指導を通して、**子どもから大人まで広く住民の参画が可能となるなど、幅広い世代に郷土への理解が深まる工夫**を行っている。



まつり囃子伝承講座

3. 取組による成果や効果

公民館とおやじの会や地元保存会等が協働し、地域との一体を目指した様々な事業に取り組むことにより、メンバーの中にも新たに祭りの中の企画として生まれたバザーやマルシェといった取組に積極的に関わる機運が生まれ、それらの企画についてもスムーズに連携を行うことができている。また、ホタルについての環境学習や活動に参画した人が、その後、講師として子どもたちの学習を支援する側になる等の広がりも生まれている。

「竹あかり&ほたる祭り」が、新旧住民の交流の場となるとともに、地域づくりに参画する若い世代の発掘につながっている。西日本を中心に発生した平成30年7月豪雨災害後、復旧工事等の影響により、ホタルの生息数は減少した。また、その後のコロナ禍で活動が難しい状況が続いたが、**地域づくりの機運が途絶えることがないよう若い世代が中心となって、小規模な活動やイベントを継続して実施**している。



子ども達に説明をするスタッフ

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 各イベントや活動ごとに、参加者アンケートや関わったスタッフ等の反省会を実施し、実行委員会内において次回への改善案について検討を重ねている。
- 地域団体の代表者及び小中学校、こども園など教育機関の代表など、12名で構成する公民館運営委員会を年1回開催し、公民館の行う事業全般について審議を行い、取組のアップデートを行っている。
- 学校等教育機関との連携として、阿戸中学校区「まちぐるみ教育協議会」に館長等が委員として参加し、協議している。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

地域の団体やグループ等の自主性や主体性を大切にし、参加者の意見を尊重しながら調整を行うことにより、単独では難しい活動も連携・協働することにより実現・実行できるよう、関係者間のネットワークづくりを大切にしている。



団体間の調整を行う会合

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

これまで続けてきた自然環境体験セミナーや伝統芸能の継承活動の取組の支援を行うとともに、新たに参画する地域人材の発掘や育成をしていきたい。同じような地理環境にある県内外の先行事例など参考にしながら、まちづくりにチャレンジする団体の活動拠点となるような事業や取組を展開していきたい。

また、活動の拡大や充実にはICTの活用は不可欠であるため、「高齢者スマホ教室」や「小学生のスマホとの付き合い方」などの講座を実施した実績をふまえ、今後も地域内の多世代に対してメディアリテラシー向上を目指す一助になる事業展開をさらに広げたい。



竹あかり&ほたる祭り支援事業

あなたは浅原で何したい？～あさはらビジョン2023～

廿日市市浅原市民センター(広島県)

あさはらビジョン

あなたは浅原で何したい？

「ビジョン」とは？
 ・こんな未来でありたい
 ・こんな地域でありたい
 ・こんな仲間でありたい
 ・こんな生活でありたい
 「理想」とする夢の図が描かれている。
 ① ② ③ ④
 ① ② ③ ④
 ① ② ③ ④
 ① ② ③ ④
 ① ② ③ ④
 「あなたは浅原で何したい？」
 まずは、やりたいことを書きましょう。



みんなで、切って、貼って、書き込んで…ビッグピクチャーづくり

公民館の沿革・年表

- ・平成6年 浅原中央活性化センター設置
- ・平成31年 浅原交流拠点施設設置
- ・令和6年～ あさはらまちづくり交流センター設置
 (予定) (中央活性化センター、交流拠点施設を統合)
 地域運営組織を指定管理者とする管理運営に移行

※ 参考

- ・平成15年 旧廿日市市と佐伯町、吉和村が合併
- ・平成27年 浅原小学校が津田小学校に統合

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

●あさはらビジョン2023

浅原在住のイラストレーターによるビジョン冊子。表紙のイラストに、**ビジョンに込めた思いや自分とその仲間が描かれている**。地域の人は誰が何をしているのか一目瞭然。

●ビッグピクチャーづくり

ワークショップの最終回では、一人でできること・やりたいこと、仲間とできることを考え、語り合い、「私はここでこんなことをしています。」というアピールをしながら、仲間も入れて、「**未来で写真を撮ったら、浅原はこんな感じ!**」と大きな1枚の絵、**ビジョンの表紙になるビッグピクチャー (模造紙16枚分) をつくることにチャレンジした**。ビッグピクチャーから見て取れる「浅原の○○観、○○してる。○○な雰囲気」は何かを踏まえ、「○○やろうやあ」という呼びかけになるようなキャッチフレーズを入れることとし、**自分だったらどう呼びかけられたいか、みんなで意見を出し合い、納得して、左上の"あなたは浅原で何したい?"に決まった。**

公民館情報		1. 公民館対象人口	533人	3. 来館者のインターネット接続環境	有線・無線の両方
		2. 建物設置年月日	平成6年4月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	44台
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input checked="" type="checkbox"/> その他 (市長部局が補助執行)				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 3325人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 3469人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 196人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 4518人 ()			合計	11,508人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 4人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (市中山間地域振興担当部長をチーフとするビジョン策定チーム)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (農山村振興、地域福祉 (社会参加事業、生活支援体制整備事業))				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (地域住民の学び (中央活性化センター) と交流・活動 (交流拠点施設) を結びつけ、農山村地域づくりにつなげる小さな拠点)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (津田保育園、津田小学校、県立佐伯高校、社会福祉協議会佐伯事務所、県立広島大学、県立生涯学習センター、広島修道大学、広島工業大学、広島工業大学専門学校、(特非)ひろしまNPOセンター、(株)タウンキッチン、(一社)小さな拠点ネットワーク研究所、マックスパル、西日本(株)、(特非)NPOあさはら、浅原の未来を創る会、浅原連合町内会、交友会 (老人クラブ)、浅原神楽団、市関係部署)				

廿日市市浅原市民センター

OPEN 9:00～21:30

H P <https://www.city.hatukaichi.hiroshima.jp/site/asaharaso/>

T E L 0829-72-0001

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

辺地地域である浅原地区では、公共機関の撤退や店舗閉店が目立ち始めたのを機に、地域自治組織である「活気ある浅原を創る会」を立ち上げ、地域自治を進めてきた。そのような中、平成27年3月には地区のシンボルでもある浅原小学校が統合となり、小学校区＝地域コミュニティ区として進めてきた地域自治の根幹が揺らぎ、これからのまちづくりをどうしていくかが小学校統合後の課題のひとつとなっていた。また、平成31年小学校跡地に設置した交流拠点施設の企画運営を受託するべく、「活気ある浅原を創る会」は「浅原の未来を創る会」に改編され、**まちづくりの指針となる、誰もが安心して暮らし続けられる浅原のまちづくりビジョンづくりに着手**した。市もこのビジョンづくりを職員の多能化の機会と捉え、ワークショップを提案、県の「学びから始まる地域づくりプロジェクト」支援事業（※）（以下、「ひろプロ」支援事業という）モデル市町指定となり、浅原中央活性化センター（以下、センターという）内に検討チームを設置し、ワークショップのプロセスデザイン及び当日の運営を支援した。

（※）地域住民にとって最も身近な学習・交流の活動拠点である公民館等が、多様な主体と連携・協働して地域課題に対応した学習機会を提供し、学びを通じた地域づくりの活動を促進するための拠点として重要な役割を果たせるよう支援する事業

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

- 事前の状況把握**：令和3年に「浅原の未来を創る会」と「浅原連合町内会」が実施した「浅原まちづくりアンケート」の結果報告会に同行し、支所と一緒に指定管理者制度の説明をしながら、**地域住民のまちづくりへの感触を肌感覚で実感して歩いた。（地区内11町内会）**
- ワークショップ運営支援**：「ひろプロ」支援事業モデル市町として、関係部署、佐伯地域内市民センター職員、社会福祉協議会職員、浅原の未来を創る会理事長による検討チームを設置し、檜谷邦茂氏（一般社団法人小さな拠点ネットワーク研究所代表理事）によるファシリテートのもと、**毎回、事前協議により企画を練り上げ、検討チーム及び浅原の未来を創る会理事が当日のテーブルファシリを務めた。**
- 「あさはらビジョン」の成果物**：作成した「ビックピクチャー」と「冊子」には、イラストに参加者や仲間を登場させ、リアルかつ今後の愉しそうな活動をイメージさせている。文章でなく、イラストなので、**見た人がそこに自身を投影したり、「私も〇〇したい」を想起**できる。また、ワークショップに参加できなかった地域の人たちや関係人口（活躍人口・浅原にご縁のある人）への呼びかけがメッセージとして表現されており、イラスト、メッセージとともに、その解釈をビジョンを見た人に委ねているのもこのビジョンの大きな特徴である。
- 運営の工夫**：愉しくワイガヤの空気感づくり / 職員も一緒に悩む / ビジョンに自分と仲間を必ず入れる / 地元在住イラストレーターの活躍支援 / 明治大学農学部（農林水産省農村RMO推進研究会座長）小田切教授を迎えてのお披露目の開催



第1回ワークショップとダイジェストムービー（QRコード）



「あさはらビジョン」の披露

3. 取組による成果や効果

- ワークショップでは、毎回、参加者の今日の感想をラベルで収集（参加者の感想 ※抜粋）参加者の普段の想いが聞けて良かった / 『こんな地域でいたい』がバージョンアップして、めざす姿に近づいている気がした / ビジョンをもとに話し合いを続けられる仕組みがあったらいい / 実動できるビジョン / 参加者の気持ちが一つになった気がした / 小田切先生の話は普段の活動の答え合わせになった
- アンケート結果（最終回に実施 ※抜粋）
ワークショップは楽しかったですか。→94.7%の人が「たのしかった」と回答 / ワークショップはこれからの浅原のあり方を考えるうえで役立ったか。→92.1%の人が「役だった」と回答 / ワークショップへの参加はあなた自身の暮らしの質がよくなることにつながると思うか。→92.1%の人が「つながると思う」と回答
- センターにふらっと立ち寄り、相談（行政へのつなぎ、イベント企画）に来られる人が増えた。
- ビジョンのテーマをベースにして定款を定めた地域運営組織NPOあさはらが令和5年2月に設立された。



参加者アンケートを掲示

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ワークショップでは、毎回、参加者の今日の感想をラベルで収集し、運営方法などを改善。
- 検討チーム、県立生涯学習センター職員との振り返り（反省会）実施。
- アンケート調査による事業の検証（令和4・5年度「ひろプロ」支援事業）。
- 情報共有と進行管理を行うための庁内組織として、市中山間地域振興担当部長をチーフとするビジョン策定チームを支所に設置。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- すべて是对話から。主催・共催事業は、地域の人のニーズや思いを聞いてからでないと始められない。
- 地域住民が生活問題を発見し、話し合い、協働により解決するプロセスを一緒につくる。これこそが自治そのものであり、「自己決定権を地域に取り戻すこと。」そのための地域の耕しに最も時間と気を使っている。
- 誰もが気軽に立ち寄り、相談できる「よろず相談所」となるための雰囲気づくりと活動の積み重ね。
- 地域にも市役所にも役に立つ仕事ぶり、立ち回りを意識し、実践している。



全員と対話、トークフォークダンス

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 令和5年度から円卓会議（おしゃべり会）を定期的で開催し、事業の企画や評価等について対話を実施。そのような地域住民との対話をベースに事業の企画のプロセスをデザイン・プロデュースができるよう、センター機能をUP-DATEしたいので、その価値を大切に職員（従業者）を配置したい。
- 行政の統計情報、社会資源や地域資源のみならず、地域住民が保有する専門知識や経験、資格や免許などを「地区カルテ」としてとりまとめている。あさはらビジョンやこの地区カルテをエビデンスにして、事業の企画運営をしたり、地域人材の活躍（ビジョンお試し事業や地域学校協働活動）を応援したい。
- 人口は減るが人材（地域づくりを自分事と捉える人）は増える。浅原をそんな「にぎやかな過疎」にしていく。その縁側たる生活拠点にしたい。



ワークショップ参加者との記念写真

まちづくりサポートセンターふじえ

福山市藤江交流館(広島県)

公民館の沿革・年表

- 1966年(昭和41年)5月 福山市藤江公民館として開設
- 1980年(昭和55年)4月 住民学習の取組開始
- 1999年(平成11年)4月 現在の場所に移転
 - ・旧藤江小学校跡地に移転する。
 - ・グラウンド跡地の地域利用など調整窓口を担う。
- 2006年(平成18年)4月 藤江学区まちづくり推進委員会設立
 - ・協働のまちづくりの取組開始
- 2023年(令和5年)4月 公民館から交流館に変更

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

赤ちゃんから高齢者まですべての世代を対象に、ボランティアとともに地域づくりをサポート!

左上：高齢者の生活を支える「お出かけ支援事業」

交流館を拠点に運営スタッフの確保に取り組み、17人のスタッフが交代で常駐し、ニーズに対応した支援を行っている。

左下：世代間交流による子育て支援

交流館において、子育て中の親子とボランティアスタッフがふれあひながら、子育ての知識を学びあう講座を行っている。



お出かけ支援事業の拠点



子育て支援養成講座

公民館情報		1. 公民館対象人口	2340人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成11年6月15日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	50台
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input checked="" type="checkbox"/> その他 (福山市)				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 142人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 2332人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 214人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 2027人 (運営会議等)				合計 4,715人
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 3人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (交流館運営委員会)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (人権啓発事業、市民課業務 (住民票など発行))				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (福祉、環境、防災など地域活動の拠点)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (藤江保育所、藤江小学校、精華中学校、福山大学、ツネイシLR、藤江学区まちづくり推進委員会、JA松永南、福山社会福祉協議会、福山市松永地域振興課、松永図書館)				

福山市藤江交流館

OPEN 8:30~22:00 H P <https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/matsunagachiikishinkou/265186.html>
 TEL (084) 935-7401 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

藤江町は、海沿いから山間に至る広範なエリアに集落が点在しており、少子高齢化・人口減少が進み、様々な課題が生じる中で、**町全体で助け合う協働のまちづくり**に取り組んでいる。その拠点の役割を交流館が担うとともに、持続可能な地域づくりに向けて、住民の生活を支えるボランティアの養成、企業・団体との連携に向けた取組が重要となっている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【ボランティア活動の推進】

ボランティア活動の推進として、人材の発掘に向けた積極的な情報発信に加え、地域独自のボランティアポイント制度「ふじパス」(※)を運営し、**誰もが気軽にボランティアに参加**できるきっかけづくりを行っている。

(※) 地域を支えるボランティア活動を行った者にシールを発行。たまったシールで製品を提供。

【地域に愛着と活力を与える事業】

● **高齢者・子育て支援**： お出かけ支援事業など**高齢者の生活を支える取組**や、**世代間の交流**にもつながる子育て支援事業などを継続的に取り組んでいる。

● **環境保全**： 域内の道に花を植えるなど**町内の環境美化を行いながら危険個所の点検も行う「フラワーロード」**の活動については、その計画から事業報告に至るまでを交流館が担い、地域の危険個所の早期改善につなげている。交流館を回収拠点とする「資源回収」の取組においても、**地域の運営スタッフが巡回する中で、高齢者の安否確認にもつなげる**など、活動を通じた地域の見守り情報の把握にも努めている。

● **若者のまちづくり参画**： 交流館に隣接する地域の交流広場を活用した各種事業を企画・運営する中で、企業との連携により実施した「イルミネーションinふじえ2022」では、**2,000人を超える来場者**があるなど、停滞気味の地域に活力を与えることができた。

● **地域振興伝統文化継承**： 地域の史跡を探索する「藤江ふるさと探訪」の企画・編纂では、元公民館長を中心に地元まちづくり推進委員や地域住民も参画し、地域の魅力を内外にマップなどを通して発信している。



フラワーロードの活動



資源回収の取組



イルミネーション事業
オープニングイベント

3. 取組による成果や効果

● ボランティア活動による地域の**支えあい**が幅広い世代に定着し、**共助の考え**が生まれている。

● ボランティアポイント制度「ふじパス」の取組では、**楽しみながらボランティア活動**を行うきっかけとなり、親子での参加増加につながっている。

● ボランティア活動をきっかけとして子どもたちの地域への関心を呼び、様々な活動への参加（循環）が図られている。

● **子どもたちの視点に立った事業のあり方を検討する機運**が生まれ、交流館隣接の交流広場での事業も、鯉のぼりの数が増え、桜のシーズンでのライトアップからイルミネーション事業へと、幅広い年齢の住民を意識した事業の見直しを図っている。

● イルミネーション事業などの新たな取組の中で、企業や団体、大学（学生）との連携へと広がっている。



イルミネーション事業当日の様子

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

交流館運営委員会での話し合いとともに、各自治会、各種団体で構成する「藤江学区まちづくり推進委員会」での意見をもとに**検証・改善に取り組んでいる**。その中で、情報共有と会議運営の充実を図ることを目的に、LINEやタブレットを活用した情報発信、情報共有を行っている。また、アンケート調査の実施や、来館者・活動の参加者に直接意見を伺うなど、利用者の声を大切に、改善につなげている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

おもな活動の中心は年齢層が高くならざるを得ないが、活動の中で必ず次世代の子どもたちとの交流を図ることを大切にしている。また、ボランティアスタッフから子どもたちとの交流が活動の活力になっているとの声があり、子どもたちを意識した事業に取り組むなど、まちの将来を見据えたサポート役を引き続き担うことが重要であると考えている。



フラワーロードを散歩する園児たち

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

ボランティアの養成など「共助」の取組を進めているが、「自助」につながる支援の取組が今後は重要になる。中でも住民がデジタル化へ対応できるような支援が今後ますます必要になることから、交流館が身近な地域の窓口として、スマホ講習会、スマホカフェなどを行い、デジタル化の支援をより一層進めていきたい。



スマホ講習会

ひとり一役・みんなが主役

長門市俵山公民館(山口県)



毎月発行広報誌「たわらやま村民

公民館の沿革・年表

- ・昭和45年 俵山公民館開設
- ・平成15年 全国優良公民館表彰受賞
- ・平成17年 長門市合併（1市3町）
- ・平成20年 俵山地区発展促進協議会が指定管理者として運営を開始
- ・平成30年 第7回全国公民館報コンクール優良賞受賞
- ・令和2年 第8回全国公民館報コンクール金賞受賞（最優秀）
- ・令和4年 第9回全国公民館報コンクール奨励賞受賞
- ・令和4年 山口県公民館報コンクール優秀賞（12年連続入賞中）

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

本館は、平成20年度から地域住民により構成された俵山地区発展促進協議会が指定管理を受けて地域密着型の運営をしている。

●広報誌「たわらやま村民塾」の発行に重点的に取り組んでおり、令和2年度には**全国最優秀賞**も受賞した。A4版10ページで、地域の行事や出来事、レギュラー記事・コーナーなどを写真を交えて掲載しており、**毎月、地域住民が楽しみにされている。**

●地域の伝統芸能継承事業として、**俵山小学校児童による「子ども歌舞伎」の発表**を文化産業祭などで行っている。演技指導や衣装製作には地域住民も関わり、**地域活性化**につながっている。



伝統芸能「俵山子ども歌舞伎」

公民館情報	1. 公民館対象人口	900人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
	2. 建物設置年月日	昭和45年3月	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	制限なし
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者（俵山地区発展促進協議会） <input type="checkbox"/> その他（ ）			
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 262人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 1109人（文化産業祭）	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 2150人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 50人	合計	3,571人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 （職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人）	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 （職員のうち社会教育士の数 0人）	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 合計	3人
8. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他（公民館運営委員会）			
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> その他（伝統芸能・文化の継承）	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 自主夜間中学
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 自由記述（ ）	<input type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> その他（行政窓口出張所）	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター	
12. 各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 地区スポーツ振興会、総合型地域スポーツクラブ、青少年育成市民会議、子ども会	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他

長門市俵山公民館

OPEN 8:30~17:15 H P なし
 TEL 0837-29-0063 SNS https://www.facebook.com/tawarayamakouminkan/?locale=ja_JP



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

俵山地区は、急速な少子高齢化及び人口減少による過疎化が最大の課題である。また、地区内にはかつて湯治場として栄えた俵山温泉を有するが、高齢化による後継者不足、宿泊施設の老朽化により、利用者は減少している。

公民館事業の現状としては、コロナ禍により各種グループ活動やイベント等が中止となり、地域住民が交流する場が減少した。

高齢者のデジタル格差が進んでおり、格差を解消し、生活面での利便性を向上させる必要がある。

学校と地域が協働して「地域協育ネット」に取り組み、未来を担う子供の学びとともに地域活性化を図る。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

●地域交流イベント、生涯学習の機会の充実

近年、コロナ禍のため開催を見送っていた各種イベントを開催し、地域住民に「交流の場」や「学びの場」を提供する。

【地区民文化産業祭】社会教育団体、事業系団体の活動発表の場として、ステージでの各種発表や販売会を開催し、交流の場の提供及び地域活性化を図る。

【生きがい大学】高齢者が健康で生きがいのある生活を送るための学習・活動の場を提供。

【地区合同学習会】地域づくりや活性化のための講演会等を開き、住民参加意識高揚を図る。

【シニア向けスマホ教室】デジタル格差解消のため、スマホ基礎講座を開催。

●地域連携教育活動の充実

地域の子どもは学校を含めた地域で育てるという意識の下、「地域協育ネット」の充実に取り組む。

【ドウゲン養成講座】地域の特性を活かして様々な体験活動の機会を提供。

【放課後子ども教室】放課後の児童の安全・安心な居場所を提供し、学習・遊びの機会を提供。

【俵山小ささえ隊】小学校の環境保全、学習補助、読書補助などの活動を支える地域人材の派遣や育成のコーディネートを行う。

●広報、情報提供活動の充実

毎月発行「たわらやま村民塾」やSNS（FB）を通じた情報提供、俵山オリジナルカレンダーの作成を行い、地域住民や活動の紹介を行う。



生きがい大学「落語講座」



ドウゲン養成講座「木工教室」

3. 取組による成果や効果

●指定管理団体による公民館事業運営により、地域密着型のイベント等が開催できており、市内でも活力のある地域として認識されている。公民館に地域の出来事や人物の情報が集まり、様々な活動拠点として公民館が機能している。

●様々な講座やイベントを通じて、幅広い年代層に学びの機会を提供しており、健康で生きがいのある豊かな生活を送るための一助となっている。

●地域連携教育活動を充実させることにより、児童、学校職員、地域住民がそれぞれに学びの機会の提供を受けており、「学び合いのサイクル」となって、地域活性化につながっている。

●充実した広報誌の提供やSNSなどの情報発信により、地域住民に楽しみや活力を与え、交流人口の拡大にもつながっている。



俵山地区民文化・産業祭「歌舞伎発表」

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

●地域住民、学校関係者等で構成された「公民館運営委員会」において、公民館事業・活動の評価・検証を行い、事業の改善や運営等に反映させている。

●指定管理団体「俵山発展促進協議会」の総会、役員会において、公民館の運営等の評価、検証を行っている。

●イベント、講座等の開催後に参加者アンケートを取り、改善につなげている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

●地域の生涯学習の拠点、憩いの場として、ニーズに応じた学習や交流の場の積極的な提供。

●生きがいを感じる体力づくり、健康に関わる講座や体育的な行事の開設、実施。

●情報提供及び地区民とのコミュニケーションの活発化による住民の意見とニーズの把握。

●「ひとり一役・みんなが主役」の意識の下、地区住民の持つ力を最大限に活かす取組み。



シニア向けスマホ教室

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

●まだまだやるべきことは多くあるという前向きな姿勢のもとで、公民館活動を活性化する。

●誰もが夢や希望をもって生活できるように手助けをしっかりと行い、事業を具体化して推進していく。

●こちらからの一方向からの働きかけではなく、しっかりと地区民の意見・要望を聞き、それが反映できるように「時代に沿ったニーズに対応できる開かれた公民館」としての立ち位置で対応する。



俵山小が作成した看板

固定化を打破。新たなつながりを目指して！

阿武町中央公民館(山口県)



フラワーアレンジメント講座



メンズキッチン

公民館の沿革・年表

- 昭和32年 阿武町中央公民館完成
- 昭和37年 優良公民館として文部大臣表彰受賞
- 平成 8年 阿武町町民センター（阿武町中央公民館・文化ホール・農村環境改善センター）竣工
- 令和 4年 館内Wi-Fi設置（光回線）
館内図書コーナー改修工事計画

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

（左上）なごみ会（高齢者教育）の一環として、地域内にある山口県立奈古分校に出向き、高校生に講師になってもらいフラワーアレンジメント講座を開催した。地域の参加者にとっては、若い講師に教えてもらうことで、元気をもらい新たなつながりをつくることができた。

（左下）メンズキッチンのメニューは普段は和食が多くなりがちだが、町に来ている外国語指導助手（ALT）を講師に招いて、出身のオーストラリアの家庭料理を作った。料理も英語も一緒に学ぶことができ一石二鳥。

公民館情報		1. 公民館対象人口	2084人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)	
		2. 建物設置年月日	平成8年4月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	300台	
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	3000人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	4760人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	1,700人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	3200人	(文化ホール事業(コンサート))		合計	12,660人
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任	0人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任	5人	<input type="checkbox"/> 非常勤	0人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 2人)		(職員のうち社会教育士の数 0人)		<input type="checkbox"/> ボランティア協力者	0人
				合計	5人	
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂		
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援		
	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール		
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学		
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(人権教育学習講座)				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (文化ホール・農村環境改善センター・図書コーナー)				
	<input type="checkbox"/> 自由記述	()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学		
	<input type="checkbox"/> 企業	<input type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関		
	<input type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他		
	(子ども会 婦人会 なごみ会 スポーツ推進委員)					

阿武町中央公民館

OPEN 8:30~17:15 H P <http://www.town.abu.lg.jp/guide/chouminsenta-bunkaho-ru/>
 TEL 08388-2-0501 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 高齢化、人口減少が進む中で、公民館活動に参加する人の減少・固定化が進んでいる。
- 3年にわたるコロナ禍の中で、様々な行事やイベントが自粛・中止となり、出不精になってしまった地域住民も多くなった。
- 町内に、A L T・地域おこし協力隊員・集落支援員・A B Uキャンプフィールドスタッフ（令和4年3月オープン）等、様々な地域人材がいる。
- 固定化された地域コミュニティの中に新しい動きとつながりを創る。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【各種講座（公民館に来館する人を増やすために）】

- ・婦人学級や高齢者学級で行われる講座を広く一般にも開放し、講座に参加してもらうとともに、婦人学級や高齢者学級などの公民館活動についても知ってもらう機会としている。

【阿武町オープンカレッジ（町内の各種講座の体系化）】

- ・町内には3公民館があり、これまで各公民館がそれぞれ地域住民対象の講座を実施してきたが、各公民館長・主事と連携しながら、様々な講座を「阿武町オープンカレッジ」として体系化を図っている。町内全域に広報を行ったり、内容（高齢者向け・少人数が好ましい等）によっては、同じ内容を3公民館で開催するなどを行っている。同ジャンルの講座があちこちで開催されることを防ぎ、多様な講座を町民が受講できるよう工夫を行っている。

【阿武町オープンカレッジ（新たな人材の活用）】

- ・オープンカレッジでは、講師として、大学・高校・スポーツクラブ等様々な様々な団体はもとより、集落支援員・地域おこし協力隊・A L T・健康福祉課職員・陶芸家等地域にある人的資源も活用し、つながりが作れるようにしている。

阿武町オープンカレッジ2022
【メニューリスト】

阿武町オープンカレッジは、町民のみなさんへ身近な学びの機会を提供することを目的としています。これまで、その趣意に沿って実施してきた講座の受講者も、好評を博してきました。今年度は、その趣意に沿って実施してきた講座の受講者も、好評を博してきました。今年度は、その趣意に沿って実施してきた講座の受講者も、好評を博してきました。

入門	入門	入門
『(自)人権が尊重された 物語性のある講座を 開催します』 講師：菅野 伸 日時：10月26日(土) 場所：阿武町公民館	『スマホでスマホ SNS の 見方・使い方』 講師：菅野 伸 日時：10月26日(土) 場所：阿武町公民館	『新しい学びに挑戦』 講師：菅野 伸 日時：10月26日(土) 場所：阿武町公民館

オープンカレッジチラシ

3. 取組による成果や効果

【各種講座・オープンカレッジ】

- ・徐々にではあるが、これまで公民館の活動に参加されたことがなかった方の姿も見られるようになってきた。まずは魅力的な講座やニーズの高い講座を目指すことで新たな参加者の開拓につながっていることが感じられる。
- ・公民館が新たな講師とつながり、講座を開設することで、公民館以外の例えば子ども会や学校に出向いての教室の開催など、新たなつながりが生まれている。



「地域おこし協力隊」から親子で学ぶローストビーフ

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 町教育委員会が示す「社会教育推進方針」の目標である『町の力となるひとづくり』の実現に向けた取組になっているか、社会教育委員会議・公民館運営審議会を年3回開催し、公民館事業の在り方について協議を行っている。
- 参加者にアンケートを実施。紙媒体に加え、スマートフォンを活用したGoogle formによるアンケートも実施し、多くの方から感想・評価をもらえるよう工夫。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 社会教育推進方針の目標『町の力となるひとづくり』の実現に向けた取組となっているか検証する。
- 地域住民が自主的に活動できるよう支援する。
- 関係団体と協力しながら、固定化された地域コミュニティに新たな動きをつくることを目指す。
- コロナ禍で出不精になってしまった人をコミュニティに引き戻す。



小学校との交流会前の奉仕作業

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 現在はまだ、高齢者を中心とした活動が多いが、子供から高齢者までの幅広い世代が、公民館に集い、学びあったり、仲間づくりができる場としていきたい。特に小中学生・高校生の保護者世代、働き世代が集いやすい・参加しやすい公民館にしたい。



子供向け講座に保護者も参加

つながり拠点 陶地域交流センター

山口市陶地域交流センター(山口県)



納涼そうめん流し体験



陶ふれあいまつり

公民館の沿革・年表

- ・昭和25年 陶公民館開設（小学校講堂の一室へ併設）
- ・昭和31年 陶公民館新築移転
- ・昭和53年 出張所を併設した陶公民館完成
- ・平成21年 「陶地域交流センター」へ名称変更
- ・平成28年 陶地域交流センター建替
- ・令和 4年 夏休み子ども講座実施
- ・令和 4年 山口県公民館報コンクール「会長賞」受賞

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

【上：納涼そうめん流し体験】

令和4年度初めて開催した夏休み子ども講座の中で特に人気だったものは、『納涼そうめん流し体験』であった。そうめん流しだけでなく、地域の方々を講師に、のこぎり等の工具を使い、箸やお椀を作成した。

【下：陶ふれあいまつり】

若者・親世代が中心となり運営方法を考え、地域のお祭りである『陶ふれあいまつり』を3年ぶりに開催した。各種出店やもちまき等、子どもが楽しんでいる場面が目立った。

公民館情報		1. 公民館対象人口	2087人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和25年	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	10台程度
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input checked="" type="checkbox"/> その他 (市長部局)				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 602人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 5668人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 合計 7,065人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 795人 (陶ふれあいまつり)				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 1人) 合計 6人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (講座参加費、輪転機使用料)				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (行政窓口・地域団体) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (西円寺幼稚園、陶小学校、湯上中学校、JA山口県、陶連合自治会、陶地区子ども会育成連絡協議会、陶小学校PTA、山口市教育委員会社会教育課)				

山口市陶地域交流センター

OPEN 8:30~17:15

H P <https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/136/>

TEL 083-972-1318

SNS <https://www.facebook.com/marugotosue>



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 小学校コーディネーターや陶地区子ども会育成連絡協議会から、小学校の夏休み期間中において「色々な経験をさせたい」、「**子どもの居場所が少ない**」、「**保護者の負担が大きい**」、といった声があり、共催で夏休み子ども講座の開催を目指した。
- 本事業を実施する上で、地域の子どもたちについて話し合う会議体である「子ども応援座談会（学校関係者、地域団体、社会教育団体等で構成）」を活用し、座談会に出席する様々な地域団体と連携の上、子どもたちに対してできることを考えた。
- 小学生を対象に、夏休みにやりたいことアンケートを実施し、子ども達のニーズを把握した。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【夏休み子ども講座（子どもの体験活動）】

地域団体の活動や夏休みにやりたいことアンケートの結果を基に、**全21講座**を計画し、陶地域交流センター（以下、交流センター）を拠点に実施した。

講座の具体的な内容としては、料理教室や体操教室のような**地域団体が講師・世話人になるものを中心に**、マイクロバスによる市外への社会見学や企業を招いた出前講座といった普段なかなか経験できないようなものも実施した。

中学生に小学生のサポートとしてボランティアの協力を依頼した。この**中学生ボランティア**は毎年様々な場面で活躍しており、小学生のロールモデルとなることを狙っている。

参加申込はチラシに貼り付けた二次元コードとし、スマートフォン等による**電子申込**とした。

また、このような申込フォームを掲示板としても活用し、内容の変更や新たな注意事項が発生した際に、その掲示板を更新することで瞬時に全体へ周知することができた。

本事業の日程のみならず、学校行事や登校日など、夏休みの行事を一枚のカレンダーに落とし込み、小学生にとって**一目で夏休みの予定が把握**できるものとした。

【地域として子どもを育てる意識の強化（取組全体）】

社会教育講座のみならず、地域の祭り・運動会や地域広報誌など、あらゆる場面で**子どもを主体**とすることで、**地域として子どもを見守り交流**できる機会を増やした。



中学生ボランティアの参加



チラシ・カレンダー

3. 取組による成果や効果

【各活動による成果・効果（夏休み子ども講座）】

● **参加者数の増加**：小学校児童数75名中57名（**延べ308名**）が参加し、例年の講座参加者数を上回り(R3:71名,R2:16名,R1:150名)、有意義な夏休みとなった。

● 事業後のアンケート調査：小学生と保護者を対象にアンケートを実施した。小学生対象のものでは、**満足した講座や今後受講したい講座**が判明した。保護者対象のものでは、**夏休みが充実したものとなり保護者負担の軽減**につながる意見が多かった。

【これまでの取り組み全体による成果・効果】

● 世代や人・団体の**垣根を越えたつながり**が生まれ、地域としての意識強化につながった。



垣根を越えたつながり

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

● 夏休み子ども講座として、事業前後に実施した各種アンケートや聞き取りを活用し、年3回程度開催する子ども応援座談会を通じて、事業前には計画・運営について話し合い、事業後には今後フィードバックできるよう、振り返りを行い、改善点等について協議している。

● 取組全体として、交流センター活動について年1回の陶地域交流センター運営協議会にて振り返りを行っている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

● 交流センターが地域の憩いの場となることで世代や人・団体の垣根を越えたつながりが生まれれば、多種多様な地域課題解決に向けた土台が醸成されていくものと考え。地域と積極的に関わり合い、多くの方が気軽に訪れることのできるような**拠点づくり**が大切となる。

● 人口減少が進む小さい地域のため、**子どもを中心とした活動・地域づくり**を心掛けている。

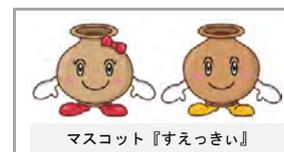


陶地域交流センター

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

● 若者・親世代が企画・運営する地域行事や地域課題解決を目指す活動を促進したい。

● SNSや陶のマスコットである『すえっきい』を活用し、地域内外へ交流センター活動や地域の魅力を発信し、**シビックプライドの醸成**を図り、**誰もが住み続けたいと思う陶の地域づくり**をしていきたい。



マスコット『すえっきい』

つながりの「輪」を広げ、「和」を深める公民館をめざして

吉野川市山瀬公民館(徳島県)



山瀬公民館(外観)



回り踊りの様子

公民館の沿革・年表

- 昭和30年 山川町公民館設置条例により地区公民館として山瀬公民館設置(旧山瀬町庁舎)
- 平成18年 山瀬公民館祭(～平成19年)
- 平成20年 山川・山瀬地区公民館祭開催(～平成22年)
- 平成23年 山川町公民館祭開催(現行)
- 平成27年 山瀬公民館新築落成式
- 平成29年 手話サークル開講
- 令和 3年 てくてくウォーキング開講

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- 新築された山瀬公民館(写真左上)
平成26年度森林整備加速化・林業飛躍事業により、徳島杉など吉野川市有林の木材で建設された。
- 夏祭りでの回り踊りの様子(写真左下)
新型コロナ感染拡大前に開催していた回り踊りの様子。回り踊りは、地域に伝承されている盆踊りの一系統で、本来はお盆に死者の霊を供養するものであるが、時代とともに娯楽的要素が主となっている。公民館は、伝統文化の継承の場ともなっている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	1462人	3. 来館者のインターネット接続環境	無し
		2. 建物設置年月日	平成27年7月29日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	-
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1141人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 6695人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 23人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				合計 7,859人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 2人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (地域の自然、歴史文化を学ぶウォーキング)				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (山瀬学童保育所が隣接し、定例利用団体であるとともに、連携した活動も実施。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (吉野川市立山瀬小学校、徳島県教育委員会、吉野川市役所、山瀬学童保育所、山崎地区社会福祉協議会、瀬詰地区社会福祉協議会)				

吉野川市山瀬公民館

OPEN 8:30～17:00(22:00) H P

T E L 0883-42-2139 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

当館は吉野川市に11館ある公民館の一つであり、会計年度任用職員1名と非常勤1名で運営している小規模の公民館である。立地環境は使用しなくなった町庁舎を開設時に転用し、小学校が隣接するなど、かつての行政、文教の分野での地域の中心地といえる。しかし現在、利用者の多くは高齢者であり、地域社会は少子高齢化の課題と直面している。そうした中、利用者相互の交流と学びをとおしてやりがいや充実感を持てるようにするとともに、身の回りにある地域の課題を自分事と捉えて、主体的に取り組める企画を意識しながら運営に努めている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【手話サークル～多様性を認め合う地域社会の創造～】

地域に暮らす聴覚障害者とそれを支える市民が連携し、公民館主催で月2回の手話サークルの講座を開催している。発足から6年目を迎えているが、参加者は現在19名である。

手話指導者で聴覚障害者でもある講師の指導のもと、手話での会話、手話コースなどに取り組んでいる。これまでも公民館の夏祭りや文化祭などで手話コースを披露したり、小学生とその家族を対象にゲームなどを交えた啓発行事（「音のない世界」など）も実施している。手話を習得し、スキルアップすることも大きな目的の一つであるが、それと同時に参加者がお互いに信頼を深め、支え合いながら学ぶ居心地のよい会の運営を目指して活動している。

【てくてくウォーキング～地域社会の歴史と文化の再認識～】

熱中症の危険性が高まる夏場を避け、年間4～5回、半日のウォーキング行事を実施している。今年度で4年目を迎え、毎回安全性に配慮した6～8キロメートルのコースを設定し、途中で自然や歴史に関する文化財にも立ち寄り、簡単な解説を行っている。参加者にコースの地図と立ち寄り先の文化財について解説した資料を配付し、後日、あらためて活用する機会につながればと考えている。公民館を介してともに地域の自然や歴史、そしてふるさとの文化について背景を楽しく理解していければと考えており、そのことが、自己肯定感や地域社会のあり方を考える機会につながることを目指して活動している。



夏祭りでの手話コース



てくてくウォーキング

3. 取組による成果や効果

【手話サークル】

聴覚に障がいがある方を核にして、相互理解を根底に据えて運営しており、手話を学ぶ場であるとともに参加者にとって**安心できる居場所**にもなっている。公民館活動をおとして、手話のスキルアップと参加者相互の信頼関係を深め、人権についての視野を広める機会となっている。

【てくてくウォーキング】

参加者は、身近にあるものの普段は気にとめない建造物や石造物、また樹木や地形などをあらためて見直すことで、地域社会の歴史や文化への理解が深まるとともに、**地元への愛着**を持つ機会となっている。



「音のない世界」

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

参加者にアンケートを実施するほか、参加者との直接の会話で意見を聞き、PDCAサイクルを意識しながら運営を行い、改善点については柔軟に対応するよう心がけている。また、公民館運営委員会が出された意見も参考にしながら活動の改善に生かすようにしている。さらに、吉野川市の公民館で組織される連絡協議会の連携の中で、相互に情報交換を行うとともに、出された意見や助言などを参考にしながら、運営の改善につなげるようにしている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

公民館は「自分づくり、仲間づくり、地域づくり」のための施設、拠点であるとの考え方を大切にしている。利用者が立ち寄りやすい身近な施設であるとともに、地域社会に公民館利用の「輪」が広がり、利用者の「和」が深まる運営を目指している。今後も、地域社会の課題やニーズに応じたテーマの設定を心がけ、毎月の「公民館だより」やチラシなどで広報・発信に努めたい。



利用者有志による年末大掃除

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

隣接する小学校はコミュニティスクールとして、地域との連携を深めながら子どもの育成を目指している。これまでの公民館への見学や行事参加など連携した活動は継続しながら、今後、世代間交流の機会を増やすなど、公民館が学校と地域のあらゆる世代を結ぶ仲介施設、拠点として機能できるよう学校や地域社会との連携をさらに深めていきたい。



公民館見学（小学3年生）

アクティブ玉津推進事業

西条市玉津公民館(愛媛県)



玉津ふれあいウォーキング大会



ジュニア未来塾

公民館の沿革・年表

- ・昭和47年 旧西条市に公民館が設置される
- ・昭和52年 玉津公民館新築
- ・平成21年 玉の子教室（放課後子ども教室）開講
- ・平成30年 玉津地域未来塾開講
- ・令和元年 土曜教育開講
- ・令和元年 玉津ふれあいウォーキング大会開始
- ・令和2年 えひめ学校・地域教育サポーターとの連携事業開始

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

- ・玉津ふれあいウォーキング大会
新しい年の始まりに新年の挨拶を兼ねて、校区の皆さんが年齢に関係なく参加し、ふれあいを深めることを目的としたウォーキング大会。
- ・ジュニア未来塾
西条市立西条東中学校3年生を対象とした(株)愛媛新聞社の出前授業である。これまでの愛媛新聞掲載記事から西条市に関連するものを抜粋し、自分たちでテーマを設定してオリジナルの新聞を作成した。

公民館情報		1. 公民館対象人口	8486人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和47年4月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	10台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2764人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 13754人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 3,842人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()			合計	20,360人
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 5人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人)			合計	5人
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (玉津公民館協力委員会)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (子どもたちが自主的に企画する事業の補助的業務)				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ()) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (子どもが利用しやすい環境づくりと、他機関との連携強化に力を入れている。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (玉津校区連合自治会・西条市立玉津小学校・西条市立西条東中学校・愛媛県立西条農業高等学校・玉津児童クラブ・玉津地区青少年健全育成協議会・玉津婦人会・玉津校区民生児童委員会・社会福祉協議会玉津支部・玉津シニアクラブ・玉津小学校PTA・玉津小学校学校運営協議会・西条市社会教育委員会・放課後NPOアフタースクール参加企業)				

西条市玉津公民館

OPEN 8:30~17:00 H P <https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/syakaikyoiku/tamatu-index.html>
TEL 0897-56-5191 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 玉津校区は、市内で唯一2010年から2045年までの35年間で人口が増加し、市内で最も人口が多い地域となることが予想されている。昔からの住人も新しい住人も地域の良さを知り、シビックプライドを醸成するために、「地域の魅力を再発見するきっかけづくり」が重要だと考えた。
- 子どものライフスタイルが「外→内」となる傾向が見られることから、屋外での運動や体験活動を支援するプログラムを求める学校・地域住民の声があった。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【土曜教育：演劇ワークショップ（地域学校協働活動）】

演劇講師（元坊っちゃん劇場出演者）等から演劇のノウハウや自己表現のスキルを学び、子どもたちの隠れた才能・魅力を発見する事業である。土曜教育では、演劇ワークショップ以外にも、バドミントン、水泳、陸上、クライミング、動画作成の教室も企業等の協力を得て実施しており、子どもたちの豊かな体験につながっている。



土曜教育：演劇ワークショップ

【三世代交流事業：玉津ふれあいウォーキング大会（多世代交流）】

校区内を9kmの長いコースと5kmの短いコースに分かれて歩き、子どもから高齢者までの交流を深めることを目的とした事業である。この事業は、玉津校区連合自治会（青少年健全育成部）・玉津校区婦人会・玉津ボーイスカウト・玉津小学校等各種団体の協力により実施しており、地域の魅力の再発見や住民同士の新たな交流につながっている。



玉津ふれあいウォーキング

3. 取組による成果や効果

- 子どもたちが新しい自分を発見し、自分を表現する力を身に付けた。
- 三世代交流が図られ、参加者同士の新たなつながりが生まれた。
- 関係団体との連携強化が図られ公民館事業のバリエーションが広がった。



土曜教育：バドミントン

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 自治会や地域団体の代表と学校関係者で構成する公民館協力委員会を年間3回開催している。
- 地域学校協働活動に関する運営委員会を年間5回実施し、活動内容の検証、改善につなげている。
- 今後の改善点となるヒントを得るため、各種事業参加者や公民館利用者の声を聞いている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 日頃より各方面にアンテナを張り情報収集に努め、地域の情報発信基地となるよう心掛けている。
- 地域の関係団体、企業・中学校・高校との連携強化事業や、子どもとの関わりを重視した事業を展開するよう心掛けている。



JAL 紙飛行機授業

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 子どもから高齢者まで様々な年代の方が学習や体験ができる環境を提供し、更なる世代間交流を促進する事業を展開していきたい。
- 「いつでも・誰でも・気軽に」公民館を利用できるスペースの設置を検討中である。



三世代交流 しめ縄づくり

大好き！ 神(かみ)の郷(さと) 神郷

新居浜市立神郷公民館(愛媛県)



公民館の沿革・年表

昭和33年4月	神郷公民館設置
昭和49年7月	神郷公民館移転新築
昭和61年4月	神郷公民館移転新築
平成12年	優良公民館として文部大臣表彰受賞
平成22年	地域主導型公民館に移行
平成24年	神郷まちづくり委員会発足

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- 平成24年に公民館を拠点として地域住民総参加のもと、環境・安全安心・子育て支援等の地域課題に取り組み、「安全・安心で快適な住み良い地域づくり」を推進することを目的とした「神郷まちづくり委員会」が発足し、4部会ごとに月1回熟議を重ね、まちづくりに取り組んでいる。
- まちづくり委員会ではコミュニティ・スクールと連携し「あいさつ運動」に重点をおいている。「神郷(こうざと)の「郷(さと)は(ごう)とも読めることから5人と郷をかけて郷レンジャーが神郷のあいさつ運動のシンボルになっている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	9566人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和33年4月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	10台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 4574人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 10010人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 30700人 ()			合計	45,284人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 1人)			合計	4人
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (地域の中心地にあり、市立神郷小学校、市立神郷幼稚園と隣接している。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (神郷幼稚園、神郷小学校、川東中学校、新居浜東高等学校、神郷校区連合自治会、神郷校区社会福祉協議会、神郷校区民生委員協議会、神郷史情保存会、教育委員会社会教育課、新居浜市)				

新居浜市神郷公民館

OPEN 9:00~21:30

H P <https://www.city.niihama.lg.jp/soshiki/koukou/>

TEL 0897-46-1181

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

少子化や核家族化の進展により地域における異世代間のつながりが希薄となり、次のような課題が挙げられる。

- ・子どもにとっては多世代との交流機会が少ないため、社会性を育む機会が失われつつある。
- ・子育て中の保護者にとっては、子育てに対する喜びや楽しさよりも負担感が増大し、親としての自信や責任感が失われつつある。
- ・高齢者にとっては社会的な役割を担う機会が減少し、孤独感や生きがいの喪失につながっている。
- ・地域にとっては、まちづくりや防災安全などの地域課題に対して相互扶助による連帯感の醸成が求められている。

以上のような課題解決に向けて平成24年に**地域ぐるみによるまちの活性化**を目的として「神郷まちづくり委員会」が発足した。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【「神郷花やしき」（手作りお化け屋敷）～地域の子どもは地域の宝～（三世代交流）】

コロナ禍、子どもたちが楽しみにしていたイベントが中止、延期になる中、まちづくり委員会ではひと夏の子どもたちの思い出づくりに何かしたいと、手作りでお化け屋敷の開催となった。花やしきに入る前、暗い別室で朗読家による地域に伝わる怪談を聞いて緊張感が増した後、時間差で数名ずつで入った。お化け役の迫真の演技や工夫を凝らした仕掛けで入口近くで大泣きしてリタイアする子ども、見事脱出して出口で得意げにメダルをもらう子どもなど予想以上の反響があった。冬には「ゲーム＆プロのマジックショー」を開催した。



神郷花やしき

【「タイムスリップコンサート&歌声喫茶」～歌と共に癒しのひととき～（生きがいづくり）】

校区には長い歴史のあるコーラスサークルや平均年齢が80歳を越す歌声喫茶グループもある歌好きの校区である。NHKのど自慢の伴奏者を迎え、1部はコンサートを、2部では昔懐かしの歌謡曲等を皆さんで歌った。歌っている皆さんは少年、少女の頃に戻ったような若々しい表情で、会場は熱気に包まれた。



ゲーム＆マジックショー

【「乳幼児期家庭づくり講座」～地域の先生に学ぶ～（子育て支援）】

幼稚園児と保護者を対象に地域の方々を講師に迎え、盆踊り、凧作り、お手玉、餅つき等、年間16回講座を実施している。

【「忠魂碑広場の整備・活用」～神郷のシンボルを再び～

（地域資源を活用したまちづくり）】

昔は桜の名所で相撲までとられていた忠魂碑広場を、まちづくり委員会、自治会、中・高生で整備し、手すりや階段、案内板を取り付け散歩コースを作るとともに、紫陽花を挿し木したり、幼稚園児による桜の植樹をしたりしている。6月にはアジサイ祭を開催し、おもてなしコーナーや中学生の金管バンド演奏を行っている。



タイムスリップコンサート

3. 取組による成果や効果

- 多世代交流の場となり学びや成長を支える良い**機会を提供**できた。
- まちづくり委員会の委員にとっては**生きがいづくり、やりがいづくり**の場となった。
- 乳幼児期家庭づくり講座では、園児にとっては伝統行事等、**貴重な体験の場**となり、保護者にとっても**地域との交流の場**となりその後の交流も生まれた。
- 忠魂碑広場の整備・活用においては、土を作り、花を育てることで**異世代間の連携協力**が生まれ、思いやりや慈しみの心、郷土愛が育まれた。



地域の先生 餅つき

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

まちづくり委員会では、定例会において各事業の企画、立案をし、実施後は参加者の意見等からの評価、反省をふまえ現状のまま継続、改善継続、廃止の選別をしている。まちづくり委員会だけでは解決できない課題については、公民館運営審議会や連合自治会と連携を図り、早期解決、早期実現を目指している。また、新居浜市公民館連絡協議会において、他の公民館との情報共有、意見交換を定期的に行っており、お互いの良いところを取り入れることで自己点検に役立っている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

地域の憩いの場として集い合いながらお互いを高め、住民一人一人のニーズや要望に寄り添い、**充実した生活を創造**することを目標としている。また地域学校協働本部事業や放課後子ども教室推進事業のコーディネーター的役割として学校と地域をつなぎ、連携を深め、コミュニティ・スクールを推進する。



放課後子ども教室

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

神郷校区を名前の通り「神のさと」として新たなイメージでとらえ、現在神郷にある自然や施設を活かし、改めて**公民館を拠点としたまちづくり**を進める。これらを通して地域住民、特に未来を担う子どもたちが**「神郷を愛し神郷を誇りに思う」**ことができるよう、地域活性化につなげたい。



神郷
まちづくり委員会

まちづくりのロゴマーク

水から生まれたピュアな里 あかま

明間地域づくり活動センター(愛媛県)



地区防災訓練



愛護班活動

公民館の沿革・年表

- ・昭和36年 明間公民館開設
- ・昭和56年 明間公民館改築
- ・平成16年 西予市に合併
- ・平成28年 明間小学校閉校
- ・令和2年 明間公民館改修(耐震化)
- ・令和5年 公民館から地域づくり活動センターへ移行

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- 「地区防災訓練」の様子
南海トラフ巨大地震が発生したとの想定で行った。自治会のほか、消防団、自主防災連合会、女性防火クラブが連携しての取組である。「いのちのカード」や「無事ですタオル」を活用し有事に備えた。
- 「愛護班活動」の様子
明間からたワークを行い、地区内を巡った。子どもから大人まで地域住民が交流しながら、ふるさと探訪により地域への愛着を深めた。

公民館情報		1. 公民館対象人口	449人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和56年1月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	100台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 190人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 1494人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 508人 合計 2,192人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 1人) 合計 1人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (明間地域づくり会～必要に応じて地域の意見、事業の参画や検証などを行う)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (設立時から、多くの住民が集う地域のよりどころとなっている。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (明間保育園、皆田小学校、宇和中学校、明間自治会、明間地域づくり会、明間地区自主防災連合会、明間女性防火クラブ、明間地区社会福祉協議会、明間寿会、明間婦人会、明間壮年会、明間愛護班、西予市、西予市教育委員会)				

明間地域づくり活動センター

OPEN 8:30~22:00 H P
TEL 0894-67-0011 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

【**地区防災訓練**】平成30年7月西日本豪雨災害では、これまで経験したことのない未曾有の災害となった。幸いにも人的被害はなかったが、幹線道路が遮断されるなど、一時的に孤立する事態となった。今後、「南海トラフ巨大地震」発生も危惧される中、「安全安心」で「災害に強い」地域となるために減災について考えるなど、災害への意識が高まっていた。

【**愛護班活動**】明間地区の将来を担う子どもたちの健全育成を図り、愛護班活動を通して、郷土愛を醸成する必要性を感じていた。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【地区防災訓練（地域防災・減災）】

平成30年7月西日本豪雨災害を教訓に「災害に強く、安全安心な地域を目指し、日頃から減災につながるよう」取り組んでいる。

地域内で組織している自主防災連合会や女性防火クラブを中心に消防団と連携し、今後起こりうる災害を想定して訓練を実施している。地域住民には「いのちのカード」と「無事ですタオル」を配布し、防災についての注意喚起を促すなど有事の際に備えている。令和4年度は、西予市危機管理課、西予市消防本部、西予市消防団、西予市防災士連合会、西予警察署、自衛隊など関係機関の協力をいただき、「南海トラフ巨大地震」を想定した訓練を行った。

【愛護班活動（子供の体験活動充実・伝統文化継承活動）】

愛護班活動の盛んな当地区において、幼年期から各組を巡る「ふるさと探訪」や子ども神楽などの「ふるさと伝承」などを行うことによって、郷土愛を高めている。

また、豊かな心を育むことを目的とした体験活動を推進・実施することで、それらの体験を通じて協調性を養っていくなど、健やかな人格形成に寄与している。令和4年度は、子ども神楽のほか、市内のジオ学習やクリスマスイベント、イルミネーション点灯、おしめやきなどを行った。今後も、青少年健全育成の観点から多様な事業展開を計画している。



地区防災訓練 起震車体験



愛護班活動 子ども神楽

3. 取組による成果や効果

【地区防災訓練】

- 日頃から防災意識が高まり、各戸で非常持出袋を準備するなど、自分でできる災害への備えへとつながっている。
- 警報発令時等には、最寄りの避難所として公会堂を開放し、有事に備えている。

【愛護班活動】

- 多様な事業を行い、子どもから大人までの異世代交流が進むことで大人たちが元気をもらっている。
- 子どもから大人までそれぞれの関係性が深まり、ふるさと探訪を行うことで「地域愛」を高める機会になった。



地区防災訓練 受付状況

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 事業ごとに運営委員会を組織し、細部にわたって協議・検討を行っている。
- 事業終了後には、反省会など実施内容を検証する場を必ず設け、振り返りを行うことで次回開催時の改善につなげている。
- 必要に応じて関係者へのアンケートや参加者からの感想を求め、出来るだけ客観的な評価を得られるよう努めている。
- 各地区とも情報共有や意見交換を行い、お互いの事業のいいところを取り入れることで、見直しの際の参考にしている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

主役は「地域住民」であることを念頭に置き、これからの「地域の未来」を自由に心のままに描けるように、一人一人の想いを大切にしていきたい。

また、自発的な活動へのきっかけづくりや、さらなる地域住民とのつながりが大切だと考える。



愛護班イルミネーション

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

地域づくり活動センターが地域の方々にとって将来にわたり、いつの時代も地域のよりどころとなり、居心地のよい場所となるようにしていきたい。

目指すビジョンについては、地域住民が主役となり時代のニーズに合ったものになるよう、広く意見を拝聴するなどして反映させたい。



明間地域づくり活動センター

みんなでワクワク！学び合い・交流する公民館

唐津市肥前公民館(佐賀県)



楽しく交流『肥前ふるさとじまんかるた大会』唐ワンくんも参加



肥前子ども教室
ふるさと探訪(入野校区)

公民館の沿革・年表

- 昭和24年 公民館条例を制定
- 昭和31年 入野村助役が初代館長に就任
- 昭和33年 町村合併で肥前町となり公民館報第1号刊行
- 昭和41年 公民館運営審議会を設置
- 昭和58年 町民会館(現公民館)竣工
- 平成19年 放課後子ども教室推進事業開設
- 平成20年 公民館長・事務員2名体制へ
- 平成21年 唐津市肥前公民館と名称変更
- 令和5年 肥前町青少年育成協議会一本化

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

令和4年度、県・市・公民館の3者合同事業で念願の「肥前ふるさとじまんおもしろかるた」が完成した。3回の講座「ふるさとじまん探し」「絵札の写真撮影」「読み句作り」では、参加した小・中・高校生の柔軟で豊かな発想力に驚かされ、地域の方のサポートにも助けられた。かるた大会では、みんなで楽しみながらふるさとをのじまんを知り、校区を超えた交流ができた。放課後子ども教室では、公民館管内4小学校の児童が互いの校区を知るために「ふるさと探訪」を開催した。名所旧跡や美しい景観の場所を巡り、遠足気分楽しく活動した。

公民館情報	1. 公民館対象人口	5,922人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)
	2. 建物設置年月日	昭和58年7月	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	制限なし
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()			
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	2331人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	10518人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	3455人	(図書室利用、利用申請、待ち合わせ等)	合計 16,359人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	2人	<input type="checkbox"/> 兼任	0人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人)		<input type="checkbox"/> 非常勤	0人
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()			
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()			
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用	<input type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 学校	<input type="checkbox"/> 生涯学習センター
	<input type="checkbox"/> 自由記述 ()	<input type="checkbox"/> その他 ()		
唐津市肥前公民館	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 大学
	<input checked="" type="checkbox"/> 企業	<input type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関
<input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input checked="" type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他				
(入野児童クラブ、ひぜんこども園、入野小学校、納所小学校、田野小学校、切木小学校、肥前中学校、高峰中学校、九州電力、明治安田生命、青少年育成協議会、食生活改善推進協議会、民生・児童委員会、近代図書館、社会福祉協議会、育友会連絡協議会、区長会、黒髪少年自然の家、青少年支援センター)				

唐津市肥前公民館

OPEN 8:30~22:00 H P
TEL 0955-54-1337 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

平成17年唐津市と合併して唐津市肥前公民館となったが、それ以前は旧自治体の中央公民館であった。公民館管内には4小学校区を抱えている。それぞれの校区が独立して地域の事業や活動を行うことが多く校区を超えた交流はあまりみられなかった。校区が元気な時にはそれでもよかったが、人口減少・少子高齢化が進む中で地域の人々のつながりは薄れ、社会教育団体も次々と解散し、校区での社会的な事業が成立しなくなっている現状がある。地域の人々をつなげて交流しながら居場所をつくり、誇りを持てるような町の良さを掘り起こして伝える発信地としての役割を担い、地域づくりにつながる取組みをしていきたいと考えた。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

①肥前子ども教室

月2～3回土曜日に体験学習・自然・季節の行事・文化芸術・交流などのメニューを織り交ぜながら開催している。肥前ならではの教室として、さつま芋苗を育ててお芋スイーツ作り、サポーター手作りの昔遊び、そば打ち、郷土料理、伝統和菓子のらくがん作り、校区を巡るふるさと探訪、海遊びなどがあり、子どもたちのリクエストによる教室も毎年新しく取り入れている。

②夏休み子ども寺子屋

夏休みの学習支援と校区を超えた交流、居場所づくりを目的に寺子屋を開催している。「楽しく勉強して友だちをたくさんつろう！」の目標を伝え、教え合いながら楽しく学習し、困った時には支援してくれる大人がいる環境で年々参加者が増えている。寺子屋の参加者が子ども教室にも参加するようになり、その逆だったり相乗効果で両教室とも参加人数が増加している。

③課題解決支援講座「肥前ふるさとじまんおもしろかるたにチャレンジ！」

県（生涯学習センター アバンセ）・市・公民館3者共同の課題解決支援講座に取り組んだ。校区を超えた交流と地域づくりを目的にかねてからふるさとかるたを作りたいと考えていた。「ふるさとじまん探し」「絵札の写真撮影」「読み句づくり」「かるた大会」と4回の講座を開催した。講座を通して発揮された子どもたちの柔軟で豊かな発想力、それを支援していただいた地域のサポート力。完成したかるたは素晴らしいもので大会には多くの参加があった。参加者は肥前のふるさとじまんで楽しむ、作り手の子どもたちにとっても達成感と満足感のある大会となった。「公民館に行けば楽しいことがあるよ」という子どもたちの口コミの力、楽しい様子に惹かれて一緒に足を運んでくださった保護者のネットワークに助けられ、校区をまたいだ交流と子育て支援につながった。



そば打ち「麺棒で伸ばす」



肥前ふるさとじまんかるた大会

3. 取組みによる成果や効果

- ・子どもの利用者とその親世代の利用者数が増加している。参加者の口コミやネットワークで、これまでになかった公民館利用者層を広げていると思う。
- ・「公民館に行けば何か楽しいことがあるよ」という子どもたちの参加の仕方が入り口となり、他の講座や教室への参加につながっている。ここでは取組みの紹介ができなかったが、高齢者の場合も子どもと同じような傾向があり、口コミによる参加者が増加している。
- ・地域人材の講師・サポーターと子どもたちとのふれあいが多く、広がりのある活動となっている。
- ・「肥前ふるさとじまんおもしろかるたにチャレンジ！」ではふるさと肥前の良さを掘り起こし、子どもたちと地域の力でかるた作りや大会を成功させることができた。今後も継続してふるさとじまんのかるたを利用した事業を展開し、だれもが楽しく参加できる地域づくりの活動につなげていきたい。



サポーター手作りの竹鉄砲で楽しむ（昔遊び）

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ・年4回の公民館運営審議会において、年間を通した計画や事後の報告・検証を行い、次の課題を見つけるようにしている。
- ・地域学校協働活動（子ども教室）では、活動後、地域のサポーターと職員で自由に意見交換をしながらふりかえりをしている。さらに、次の活動についても説明を行う中でアイデアを出し合い共通理解を図っている。また、子どもへの対応の仕方や気になる子についての気付きを出し合い共通理解を図っている。講座等では、参加者との会話の中で意見や感想、要望を聞き取り活動の検証や改善につなげている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- ・文化の拠点としてワクワクする事業を展開し、楽しくふれあいながら学習し交流ができる場づくり。
- ・地域のニーズがあれば一人の要望であっても応え、じっくり寄り添いながら事業を育て、仲間を増やし、楽しく活動していくなかで、心地よいつながりを感じることのできる場づくり。
- ・小さな取組みが地域の取組みとなって広がり、地域づくりの中心としての役割を担える公民館づくり。



読み聞かせ講座発表会

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

・肥前町は唐津の中心地から遠く、生涯学習を学ぶ場や機会に恵まれず文化的にも厳しい地域である。このような地域であればこそ、学習や文化の拠点としての公民館の役割は大きい。住民が学びたい、やってみようとするような多くの事業をこれからも提案していきたい。また、子どもと地域の力で完成したふるさとじまんのかるたを町内に広め、あらゆる世代が交流できる大会として継続していきたい。さらに「肥前ふるさとじまんかるたガイドの育成」「ガイドによるかるたツアー」などへと取組みを広げていきたいと考えている。



じまんの景勝地「イロハ島」

人・家・地域の和 繋がりを創造する三和

長崎市三和公民館(長崎県)



ピーストーク



キッズクリエイターになろう

公民館の沿革・年表

- ・昭和57年 中央公民館、保健センター併設の町民会館開設
- ・平成元年 優良公民館として文部大臣賞受賞
- ・平成16年 三和中央図書館オープン

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

- ピースクリエーション「ピーストーク」の様様。
ピースパイピースナガサキの代表、前田真里氏とスペースユニオン生徒(小中高生3人)と来館者の間で平和についての意見を交わした。
- ピースクリエーション「iPad体験」の様様。
ちびっ子たちが夢中になってコラージュアートに取り組んでいる様子。他、ロビーでは、クリエイティブ講座の作品や平和活動のパネルを展示した。

公民館情報		1. 公民館対象人口	9638人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和57年2月28日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	2566人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	10358人	合計 36,694人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	23770人	(内図書室23161人)		
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	8人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任	5人	合計 15人
	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人)				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂	
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援	
	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用	<input type="checkbox"/> 防災	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	
	<input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	
<input checked="" type="checkbox"/> その他 (文化ホールでの文化活動支援)					
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ()			
	<input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学	
	<input checked="" type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関	
	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input checked="" type="checkbox"/> その他	
	<input type="checkbox"/> B Lab長崎 <input type="checkbox"/> ピースパイピースナガサキ <input type="checkbox"/> スペースユニオン				

長崎市三和公民館

OPEN 9:00~17:00 H P <https://city.nagasaki.lg.jp/kosodate>
 TEL 095-892-1919 SNS com_sanwa@city.nagasaki.lg.jp



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 特にシニア層において、加速化するデジタル社会への対応ができておらず、情報格差や孤立化が進んでいる。高齢者のデジタルデバイドの解決は全国的な課題にあるが、ICTを取り入れた社会教育の創造的な学びはまだ少ない。
- 本市では小中高12か年を通して平和教育が行われているが、市民向けの平和教育の実施事例は少ない。世界情勢が厳しく不安定な今、世界平和への創造に向けた社会教育の学びが課題である。
- 情報化やグローバル化、SDGsに向けた取組は社会全体の解決すべき課題であり、公民館が果たす役割が期待される。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【シニア向け☆初めての映画づくり（アナログとデジタルのハーモニー）】

全世代に向けたデジタルシティズンシップ教育に取り組む「B Lab長崎」と連携し、スマホ、iPad等のデジタルデバイスを利活用した趣味や生きがいにつながる創造的な学びの機会を創出した。具体的には、公民館所有のiPadを使い、趣味や思い出、地域の自然・文化を題材としたオリジナル作品づくりに挑戦した。また、地区公民館と連携し、「スマホの楽しさを広げる」講座を行った。なお、講座後もラインでの個別相談や補講などのサポートを行い、YouTubeでのアーカイブ配信、ホームページで操作方法の手順を手引きするなど、見直しができるようにした。完成した作品を自分のスマートフォンに共有し、最後は受講者全員で観賞会を行った。



映画づくり

【ピースクリエーション（世代間交流、芸術・平和・文化交流）】

「感じる 考える つくる 伝える」をコンセプトに体験型ワークショップを取り入れ、生きる喜びを分かち合う機会とした。具体的には、「感じる」では、ダンス鑑賞。「考える」では、ピーストーク。「つくる」では、ダンス体感。「伝える」では、ダンス表現。他、歌とダンスのコラボや平和映像をバックにギターの弾き語りなど、特別企画をもってプログラムに変化を加えた。なお、平和をテーマとした作品づくり「デジタルクリエイティブ講座」を行い、平和講座当日は作品展示とiPadが体験できるブースを設けた。



ピースクリエーション

3. 取組による成果や効果

【シニア向け☆初めての映画づくり（アナログとデジタルのハーモニー）】

デジタル社会での趣味・生きがいや社交の場を生み出すことができた。なかにはオンライン受講に取り組む高齢者も現れた。映画づくりを通して人生を豊かに生きることや人とのつながりを感じあうことができ、同時にデジタル機器への不安や怖さも軽減できた。



ダンス体感ワークショップ

【ピースクリエーション（世代間交流、芸術・平和・文化交流）】

「人は繋がりがあって成長する」という言葉が適当である。表現すること（ダンス）を通して、自分の伝えたい想いをカタチにしたり、他人と喜びや幸せを分かち合ったりすることができた。

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 取組の検証・改善は、現場での生の声を地道に聞き取り、有効活用している。特に雑談の中に改善策のヒントがあり、事前・事後アンケートに加えて、数日経過後、他の講座を受講する際に意見を頂戴している。
- 計画段階から講座終了までは、状況に応じて柔軟に対応するなど、その場で取組の検証・改善を行っている。
- PDCAを意識した公民館運営は、三和地区5校校長会など各種会議等において助言・相談の機会を設けている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

公民館は地域住民の学校であり、ヒト・モノ・コトを繋げ、新たな価値を創造する学びの場として捉えている。地区公民館、自治公民館との連携・協働も進めて、ここに住む市民らが心豊かに幸せ（平和）に暮らせることができる地域づくりに貢献したい。併せて、子供たちが将来、どこに住もうが、地域の一員として貢献できるよう、世代間を超えた講座の開発に注力していきたい。



さんわの未来

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

ローカル化とグローバル化の調和を図る。講座を通して世界中の人たちと交流し、新しい文化の創造と平和な世界を生み出す活動を展開したい。右写真「南蛮ぼーど」は、蚊焼包丁の鍛冶技術と欧州の看板づくりの融和の中から生まれた長崎伝統工芸品である。まずは紹介動画を通じて世界と繋がり、文化面でも産業面でも、市民レベルでの国際コミュニケーションを拓く。



和と欧の美しい融合

「郷土が人を育み 人が郷土を育む 文教のまち菊池」

～ 生涯学習と次世代人づくりの循環 ～

菊池市中央公民館(熊本県)



【菊池市生涯学習センターKiCROSS】



【令和4年度菊池市キクロスカレッジ開校式】

公民館の沿革・年表

- ・昭和48年菊池市中央公民館開館
- ・昭和49年「高齢者大学」を含む17教室・学級を開講
- ・昭和58年優良公民館として文部省より表彰
- ・平成23年優良公民館として熊本県より表彰
- ・平成29年公民館と図書館併設の生涯学習センター開館
- ・令和2年菊池市立菊池南中学校区及び菊池北中学校区地域学校協働本部を中央公民館に設置
- ・令和4年度「菊池市生涯学習基本計画」を策定
- ・令和4年度「菊池市キクロスカレッジ計画」事業を開始

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

- 菊池市生涯学習センター-KiCROSS
平成29年11月25日に公民館と図書館を併設する複合施設として開館。「つどい・つなげる・つづける～まちづくり交流の場～」を基本理念に、明日の菊池市を担う人財の育成と生涯学習のフロンティアを目指し事業を展開している。
- 菊池市キクロスカレッジ開校式の模様
令和4年6月4日に開校した「菊池市キクロスカレッジ」。防災・デジタルコンテンツ、スポーツの3コースに計23名が参加。12月17日までの14日間28講座を受講した。

公民館情報		1. 公民館対象人口	23249人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和48年	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	90台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 510人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 51244人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 125人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 1515人 (生涯学習フェスティバル(キクロスまつり)) 合計 53,394人				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 7人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (多世代交流、SDGs)				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (複合施設のメリットを生かした誰もが自由に気軽に立ち寄れる開放的な空間である)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input checked="" type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (市内幼・保園24園、菊池北中・菊池南中学校、隈府小学校他4校、菊池高校他2校、熊本大学他5大学、熊本高専、市企業連、市商工会、県立少年自然の家 他)				

菊池市中央公民館

OPEN 9:00～22:00

HP <http://www.library-kikuchi.jp>

TEL 0968-25-1672

SNS <https://www.facebook.com/KiCROSS.LL>



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

社会の急激な変化は、地域社会にも様々な変化や課題を生み出し、加えて、この3年にも及んだコロナ禍の生活は、社会生活を一変し新たな社会課題を表出している。しかし、現在実施されている各種教室や講座等は、その期待に十分応えられていない状況にある。また、学習した成果を自己実現や地域社会で活用したいという学習者の思いが、地域社会に適正に評価され活用される仕組みも確立できていない。さらには、これまで培ってきた知識や技能を生かし、情熱をもって地域課題解決やまちづくりに取り組みたいという思いと地域のニーズをマッチングする仕組みが整備されていない現状もある。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

活動リーダーや生涯学習指導者等としての専門性を高める新たな学習機会を提供する「キクロスカレッジ」、育成した地域人財を本市が活動リーダー及び指導者として認証する仕組み「生涯学習人財認証制度」、そして、その地域人財を活動とマッチングする仕組み「まちづくり支援ネット」を一体的に推進し、生涯学習と次世代人づくりの循環を創出する取組みが「菊池市キクロスカレッジ計画」である。

1 菊池市キクロスカレッジ

○年間14日間28講座（基礎12、専門16）を開講。令和4年度は専門コースとして防災、デジタル、スポーツの3コースを開講。令和5年度は花と緑、ワールドフレンズを増設し5コースで開講中。※R5は、基礎10、専門18、計28講座を実施予定

2 菊池市生涯学習人財認証制度

○対象者は、趣旨に賛同する市内在住・在勤のキクロスカレッジ修了生及び豊かな知識・経験を有する有意な市民であること

○生涯学習人財認証審査会（教育長が会長を務める）で審議し、認証・登録を行う。

3 菊池市まちづくり支援ネット

○市民、団体、各機関からの要請を受け、対応できるマイスターとマッチングし派遣する。

○当分の間、事務局は中央公民館が担い、将来的に自走化を図る



【キクロスカレッジ基礎講座】



【閉講式での修了証授与】

3. 取組による成果や効果

【菊池市キクロスカレッジ及び菊池市生涯学習人財認証制度】

○令和4年度は、3コース23名が受講。満足度は100%であった。カリキュラム及び講師の充実度がこの満足度につながったと評価している。

○修了生全員がマイスター申請を行い、第1期生として認証・登録された。深い郷土愛と使命感、そして、高い活動意欲を確認することができた。

【菊池市まちづくり支援ネット】

○マイスター第1期生として活動を開始。防災（9名）は、学校での防災教育及び自治区での防災訓練等の講師。スポーツ（6名）は、2小学校で総合型のスポーツクラブ（菊池JSP）の指導。デジタルコンテンツは、地域でデジタルアーキビスト活動を展開中。



【防災マイスターの講座風景】

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

【キクロスカレッジ運営委員会での検証】

○年間5回程度開催する「キクロスカレッジ運営委員会」（10名で構成）において、開設コース、カリキュラム及びシラバス、運営等について審議し改善を行っている。また、修了認定も担っている。

○当運営委員会は、人財認証制度における審査会も兼ねており重要な機関となっている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

○市民の『つどい』『つながり』とともに『学び』『成長』を支援する生涯学習の拠点づくり

○『だれでも』『だれとでも』『いつからでも』『きがるに』学びたいことが学べる環境づくり

○「学歴」ではなく「学習歴・スキル」が評価される社会への変化を見据えた学習プログラムづくりを基本的な考えとして、生涯学習社会の実現に向かう中核施設として機能すること



【キクロスまつり風景】

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

中央公民館は、本市の「人づくり、つながりづくり、地域づくり」の拠点施設として、ライフステージに応じた多様な学習機会の提供を図り、様々な地域社会の課題解決に向けた市民力の向上や自己実現の支援を図っていく必要がある。今後は、「ハイブリッド型学習」や「アウトリーチ型学習」の提供、多様な機関との連携・協働による事業展開を進めていく予定である。



【アウトリーチ型スマホ講座】

地域と協働して行う「ひとつづくり・まちづくり」

九重町東飯田公民館(大分県)



つ～だらだった祭りの模様



通学合宿の朝ご飯の模様

公民館の沿革・年表

- 昭和30年 東飯田公民館開設
 平成6年～ 東飯田公民館指定管理者
 平成18年～「通学合宿」の実施
 平成25年～東飯田公民館に町職員が配置
 平成25年～「つ～だらだった祭り」実施
 令和元年 東飯田公民館改修、
 東飯田ふれあい交流センターと併設
 令和3年 地域力を高める公民館活性化モデル事業
 「地域と公民館との連携促進事業」実施
 令和4年 地域力を高める公民館活性化モデル事業
 「出張公民館講座」実施
 令和4年 地域コミュニティ活性化モデル事業
 「豊後七福神宝船」実施

左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

- つ～だらだった祭りの模様
 地域の方になじみのある方言「つ～だらだった（走ったら疲れるという意味）」を使った祭りの名称にし、地域の繋がりを強めるために、地元の各種団体と協働し開催している。内容は「ステージ部門」「芸術部門」「体育部門」の3つと自治会や団体による屋台を出店している。主に公民館で活動しているサークルがステージ発表や芸術作品の展示を行っている。
- 通学合宿の模様
 小学6年生を対象に、公民館で約1週間生活をして学校に通う。新たに学校のリーダーになる自覚と、集団生活の中での自主性・協調性を養うための大事な行事になっている。生活の中では地域の講師による天体観測や、バターづくりなど様々な学習の機会を設けている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	2295人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和30年2月	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	30台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	1595人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	9140人	合計 12,359人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	1624人	(役場関係、学校関係、共催関係など)		
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	1人	<input type="checkbox"/> 兼任	0人	合計 1人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 1人)				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂	
	<input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援	
	<input type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	
	<input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (東飯田ふれあい交流センター)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述	(子どもからお年寄りまで、幅広い年代の方に来館いただいている)			
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学	東飯田小学校、ここのえ緑陽中学校、玖珠美山高校、大分大学、A P U、別府大学、八鹿酒造、シルバートラッドメルヘン、玖珠N O K、東飯田まちづくり協議会、九重町社会福祉協議会等
	<input checked="" type="checkbox"/> 企業	<input type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関	
	<input type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input checked="" type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他	

九重町東飯田公民館

OPEN 8:30~22:00

H P

<https://www.town.kokonoe.oita.jp/>

TEL 0973-76-3116

SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

公民館事業や講座などでは高齢者に比べ若い世代の参加が少ない傾向が続いている。また少子高齢化による地域の活力が減少しており、今後さらに衰退していくことが予想される。そのような中で、公民館として求められている点が大きく2つある。

● 広く住民への学習機会を提供すること。また集う機会を作ること。● 地域づくり人づくりを進めること。
これらの大きな2つの課題に対して、様々な機関と連携して事業を進めている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【出張公民館講座】

公民館は学習し交流する場として身近な存在であるべきとしながらも、利用者は限定されている。その要因として、公民館に馴染みがないことや、交通の便が悪いため来館が難しいことが挙げられる。地域の実態に沿った取り組みを行い、コロナ禍における高齢者の閉じこもり防止や交流の場としての拠点作りを目指している。地域の集会所に出向き、脳活性化の体操やゲーム、音楽療法や健康体操、笑いヨガなどを実施した。

またコンサートを東飯田公民館で実施することで、講座の参加者が公民館へ足を運ぶきっかけを作っている。

【若者を社会教育へ巻き込むための仕掛け】

働き盛りの世代に社会教育への参加を促すために、子どもを対象とした事業実施のための実行委員会を設置し、実際に子育て中の保護者の方に声をかけて委員を担ってもらうなど、協働で事業を進めている。これまでに「通学合宿」「軽スポーツ大会」や「地域と子どもの国際交流」、「つ〜だらだつた祭り」など複数にわたる分野での実行委員会方式をとってきた。ボランティアやお手伝いではなく、始めから事業にチームの一員として関わることで、自主性と責任感をもって事業に取り組んでもらっている。また中高大学生には「あじさいマルシェ」、「ま〜じゃら市」などのイベントにボランティアとして参加してもらっている。地域との交流や若者が地域にいるというアピールができるとともに、自身の社会参画にもつながっている。



出張公民館講座にて音楽療法



イベントの学生ボランティア

3. 取組による成果や効果

【出張公民館講座】

高齢者の閉じこもり防止や交流の場としての拠点づくりだけでなく、地域住民と直接交流することにより、普段の生活の困りごとや要望を聞き出し、高齢者福祉等の担当課や町議会へ橋渡しを担っている。また、地域の主要人物を知ること、人材を紹介してもらったり、公民館活動を広めてもらったりと、事業の展開に繋げることができている。

【若者を社会教育へ巻き込むための仕掛け】

住民発信のイベントの相談や企画が増えてきている。地域の担い手を育成していくために、実行委員会は非常に有効な手段である。時間はかかるが多くの若い世代に社会教育（公民館事業）に興味を持ってもらい、地域づくり・人づくりを進めていきたい。



講座が終わったら座談会

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

【出張公民館講座】

講座の中で、次回はどういった内容がいいか聞き取り調査をし、地域の人材を紹介してもらう。また近隣住民を誘ってもらい多くの方に参加してもらうことで、集いの場として確立できている。

【若者を社会教育へ巻き込むための仕掛け】

実行委員を選出する際は、地域のことに詳しい公民館運営審議委員に意見を求めている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

常にアンテナを張り「どこで誰がなにを必要としているか」を知り、色々な人や団体を巻き込みながら、様々なイベントや講座を行うことで人とのつながりを再構築し、その活動の中で人づくりまちづくりを行ってきたい。また、子どもたちが自分のふるさとに誇りを持つように、「地域を知り・地域を活かし・地域に学ぶ」活動を行っている。



各団体が区長さんと懇談会をする様子

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

高校生サークルを立ち上げて、教育長と高校生による座談会をしたり、九重町の活性化に向けて取組を始めているところである。若い世代を中心に人づくり・まちづくりを積極的に進めるためにも、今後は高校生や大学生にも着目し、それぞれの視点で町の課題や活性化に取り組んでもらえるような活動を行ってきたい。



地元高校生による座談会



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 校区内の高齢者が増加していることから、「成人講座」として高齢化の課題に即した内容を取り上げ、高齢者が参加しやすいように地区内各地で開催するようにしている。
- 講座受講者の固定化を解消するため、アンケート調査や公民館利用者への聞き取りを行った後に「長期講座」の内容を決定している。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

- 受講生のニーズに応じた「リクエスト講座」を毎年開設できるように工夫している。
- 枕崎の自然・風土・歴史を学びながら世代を越えた交流を行い、様々な体験で生きる力を身に付けることのできる「青少年講座」を開設している。
- 「まくらざき地域学校協働活動」では、地域の学校で学ぶ児童・生徒の学びをサポートするために、地域住民と学校とを双方向的につなぐ重要な役割を担っている。
- 公民館内の展示を工夫し、公民館主催の諸活動をととして、地域住民の憩いの場になるような公民館運営がなされている。



小原國芳先生
勉学の道を歩こう会
【地域全体で行う行事】



地域学校協働活動
(桜山小学校) もちつき大会

3. 取組による成果や効果

- 現在16ある自主講座のグループは、ほとんどが長期講座終了後に受講生の学習継続の意向を受けて立ち上げられたものである。
- 夏休みを中心に開設されている青少年講座は、子供たちに大変人気がある講座であり、募集定員を上回る申込があることも多い。
- 学校と地域をつなぐ地域学校協働活動を積極的に取り組む中で、地区公民館を中心とした新たな縦と横のつながりができつつある。

青少年講座（琴の演奏会）
自主学習グループの発表会



4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 年度当初の「公民館運営委員会」では、自治公民館長・学校関係者・老人クラブ代表者・子ども会育成連絡協議会代表者・行政代表者等が集まり、地区公民館の運営について活発な意見交換をしている。年度末には、「公民館企画委員会」を開催し、活動の成果や課題を踏まえながら、来年度の運営計画を作成している。
- 講座内容に関するアンケート調査を実施し、活動内容や運営に関連する意見を次回の講座開設の際の参考にしている。
- 地域学校協働活動をととして、公民館が核となりながら、地域住民や児童・生徒、そして、その保護者が一体となって活躍できる場づくりに積極的に取り組んでいる。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- いつでも誰でも学び続けることのできる場として、常に講座運営の工夫をしている。
- 公民館がいろいろな人との出会い、新しい学びとの出会い、知らなかったふるさととの出会いといった、来館者にとって貴重な「出会い」が生まれる場になるようにしている。
- 地域学校協働活動への協力を地域づくりや地域創生につなげようとしている。



地域学校協働活動
(桜山小学校) 米づくり

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 子供からお年寄りまで、みんなが主役となる公民館活動を今後も推進していくために、地域のニーズに応じた講座を開設したり、地域学校協働活動に積極的に関わったりしながら、地域のさらなる横のつながりづくりにも結び付けていくことができるようにしたい。
- 公民館に行けば楽しいことが待っている、また行ってみたいと思ってもらえる場所になるように、工夫を凝らした活動の場の提供や環境の整備を行ってきたい。



昔の道具等の展示・紹介

小みかも一緒に笑い学ぶ公民館 南岳にひろがる和

鹿児島市東桜島公民館(鹿児島県)



クリスマスリース作り

公民館の沿革・年表

- ・昭和56年 東桜島公民館開館（東桜島合同庁舎2階）
- ・昭和58年 地域総合文化祭開催（以後、毎年開催）
- ・昭和58年 地域スポーツ大会開催（以後、毎年開催）
- ・平成3年 東桜島地区体育振興会春季球技大会開催（以後、春季と秋季の年2回開催）
- ・平成4年 地域グラウンド・ゴルフ大会開催（以後、毎年開催）
- ・平成13年 優良公民館文部科学大臣表彰
- ・平成29年 桜島地域コミュニティ協議会連絡会の設立に伴い、行政関係機関として協力

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

● 保育園との連携講座「乳幼児の子育て学級」の様子

東桜島地域にある東桜島保育園と連携して、講座「乳幼児の子育て学級」を開設している。園児数は少ないが、保護者の子育てのヒントとして役立つ場となっている。

講座の内容は、保育園からの要望を受け、その内容にあった講師を公民館が選定し、依頼している。園児たちは保護者とのスキンシップなどを楽しみ、保護者は講座を通して学ぶことができる。また、保育園の先生方にも職員研修を兼ねて参加している。講座の会場も公民館だけでなく、園児や保護者、先生方の負担軽減のため、公民館から保育園に出向いて実施することもある。

公民館情報		1. 公民館対象人口	894人	3. 来館者のインターネット接続環境	無し	
		2. 建物設置年月日	昭和56年12月28日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	無し	
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	538人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	842人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	183人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	1936人 ()	合計 3,499人			
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任	0人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任	1人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	2人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人)			<input type="checkbox"/> ボランティア協力者	0人	
合計 3人						
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂		
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援		
	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール		
	<input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学		
<input type="checkbox"/> その他 ()						
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (東桜島合同庁舎)				
	<input type="checkbox"/> 自由記述	()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 大学		
	<input checked="" type="checkbox"/> 企業	<input type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関		
	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
	(東桜島地域内3コミュニティ協議会、桜島学園、高齢者福祉センター東桜島、桜島公民館スポーツ推進員、桜島支所東桜島総務市民課、東桜島農林事務所、東桜島分遣隊 等)					
	()					

鹿児島市東桜島公民館

OPEN 8:30~22:00

TEL 099-221-2328

H P <https://www.city.kagoshima.lg.jp/kvoiku/kvoiku/syogaigaku/>

SNS <https://www.instagram.com/syogaigaku/>





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 公民館から遠い地域の住民の中には、高齢や交通手段の少なから講座受講をあきらめる方もいた。
- 少子高齢化により公民館講座や体育・文化的行事への参加者の減少傾向が続いているが、コミュニティ協議会等の関係機関との連携による行事等を行うことで、地域の活性化につながりつつある。さらに、桜島地区の小・中学校の統合（令和8年度）を見据えた島内全域の小・中学生対象の行事の開催等による仲間づくりを進めるためにも、島内全域の関係機関との連携が必要となっている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【誰一人として取り残さない（移動講座）】

東桜島地域には、公民館まで直通の公共交通機関がない地域があるため、受講したい講座があっても参加をあきらめてしまうこともある。「それなら公民館がアウトこう」ということで、移動講座を開設している。高齢者が多い地域のため健康に関する関心が高いので、「健康教室」と「ヨガ教室」を開設した。「健康教室」では、体操や踊り、マスゲームを取り入れ、その学習の成果を、小・中学校及び地域合同秋季大運動会で発表している。「ヨガ教室」には、地域の高齢者に加え、小学生やその保護者、学校の先生なども受講しており、世代間交流も図られている。

また、上記の地域にある小学校児童を対象に「すくすく子育て学級」を開催し、水泳教室と親子ふれあい活動（レクリエーション）を行うなど、学習機会の提供に努めている。

【地域こぞって盛り上がる！スポーツ大会・文化祭（関係機関との連携行事）】

公民館主催の地域スポーツ行事として、毎年グラウンド・ゴルフ大会を開催している。東桜島地域外からの参加もあり、近隣地域との交流の機会となっている。また、東桜島地区体育振興会主催の球技大会を春と秋に開催しており、公民館は、振興会組織の事務局として、企画・運営に携わり、地域の社会体育振興に努めている。ほかにも、東桜島地域の3つの地域コミュニティ協議会と連携したスポーツ大会や文化祭を実施している。

【ふるさとへの愛着～桜島出身の誇り～（伝統芸能「桜島・島廻り節」の継承）】

公民館講座の中に「桜島・島廻り節」に関する講座を設け、小中学生に「桜島・島廻り節」の歴史や踊り方を受け継ぐ活動を行っている。講座で学んだ成果を、地域合同の大運動会や文化祭等で披露している。



ヨガ教室



球技大会

3. 取組による成果や効果

【公民館が地域のランドマーク】

公民館が関係機関と連携して事業を行うことで、地域住民の世代間、業種間による交流が図られ、住民同士のつながりが深まっている。また、桜島（火山）とともに暮らす住民同士の絆を再確認している。年々人口も減り、少子高齢化が進んだり休校となる小学校があったりする地域ではあるが、移動講座の開設も含め、公民館が地域住民のよりどころとしての役割を担っている。（令和4年度「移動講座」応募率：115%）

【故郷を離れても～地域への愛着・帰属意識の醸成～】

「桜島・島廻り節」は桜島が大正大噴火で大隅半島と陸続きになる前から、島内で踊られていたものである。公民館講座に位置付け、若い世代に伝えることで地域の大切な伝統芸能が絶えることなく受け継がれている。このことは、世代間のつながりを深めることに加え、地域への愛着や帰属意識の醸成につながっている。



運動会での「島廻り節」の披露

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 学校関係者、社会教育関係者、家庭教育関係者、学識経験者4名で構成する公民館運営審議会を年2回開催して、諮問事項について得られた意見を事業改善に生かしている。
- 事業や講座の参加者にアンケートを実施し、得られた意見等を踏まえて次回の企画・運営を改善しており、PDCAを意識した公民館運営を行っている。また、住民と公民館の距離が近いので、日頃の利用や各種行事を通して、住民の声を直接聞くことができる。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

地域のランドマークとして、地域住民に寄り添う姿勢を大切にしている。公民館が主体的に計画する事業もあるが、それをきっかけに「東桜島の地域のために自分たちができることが何かないか」という思いが実現できるよう、住民の自主的な学びや活動を支援していきたい。このような取組が、地域への愛着の醸成、地域を離れても帰属意識を持続けられることにつながると考えている。



移動講座「健康教室」

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 令和8年度の義務教育学校（桜島地区の小・中学校の統合）の開校を見据え、これまで東桜島地域内で行っていた小・中学生対象の講座や行事の参加者募集を島内の全ての学校に行い、島内全域の仲間づくりを進めたい。さらに、この行事が子どもから高齢者までの世代間交流の場となるよう、地域住民にも参加を広がってほしい。
- 令和4年度のパソコンに関する講座の応募率は75%である。桜島という土地柄、いざというときにはオンラインによるつながりも重要となる。地域住民のデジタルリテラシーに対する関心の向上に取り組みきたい。



すくすく子育て学級「水泳教室」

集う楽しみ・学ぶよろこび・活かす
吾平振興会館

鹿屋市コミュニティセンター吾平振興会館
(鹿児島県)

公民館の沿革・年表

- ・昭和56年 コミュニティセンター吾平振興会館開館
- ・平成8年 吾平町道徳教育振興会発足
- ・平成15年 ひと声添えたあいさつ運動開始
- ・平成28年 地域学校協働活動文部科学大臣表彰受賞
- ・平成29年 鹿児島県読書推進協議会会長賞受賞
- ・平成29年 鹿屋寺子屋の開設(美里吾平塾)
- ・令和2年 鹿屋寺子屋の開設(鶴峰寺子屋塾)
- ・令和2年 鹿屋寺子屋の開設(下名つくしんぼ)

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- 20年前から継承される「ひと声添えたあいさつ運動」
地域住民の道徳教育の振興及び地域の幼児及び児童生徒の健全な育成を目的とし、平成15年から実施している運動である。各学期のスタート時の1週間、交通安全指導や朝のあいさつを行うことにより、子どもたちの健全育成に寄与している。
- 鹿屋寺子屋事業
講師の先生方に加えて、地域の皆さんなどが見守り活動に参加していただいて学習活動の支援を行っている他、夏休み期間における短期講座、冬休みのもちつき大会への参加により、地域の方々との交流活動等を実施している。



豊かな人間性の育成と明るい郷土づくりの拠点施設



「ひと声添えたあいさつ運動」

公民館情報		1. 公民館対象人口	5,986人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)			
		2. 建物設置年月日	昭和56年10月5日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	128台			
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()							
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	1742人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	22436人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	770人	合計	27,933人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	2985人	(図書室利用者)					
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	4人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任	2人	<input type="checkbox"/> 非常勤	0人	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者	0人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 6人							
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()							
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()							
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂				
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援				
	<input type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール				
	<input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学				
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (鹿屋寺子屋事業)							
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 学校	<input type="checkbox"/> 生涯学習センター				
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述	(大ホールあり、一般のスポーツや少年団活動で使用されている。)						
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> 高校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学				
	<input checked="" type="checkbox"/> 企業	<input type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関				
	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他				
	(鹿屋市役所各課、鹿屋市立吾平小学校、鶴峰小学校、下名小学校、吾平中学校、国立鹿屋体育大学、あいら認定こども園、いずみ幼稚園、瑞穂保育園、JA肝付吾平町、地域グループ「男塾」外)							

鹿屋市コミュニティセンター吾平振興会館

OPEN 8:30~22:00

H P <https://www.city.kanoya.lg.jp/cyukouminkan/bunka/bunka/kominkan/aira.html>

T E L 0994-58-6036

SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 幼・少年期、青年・壮年・中年期、高齢期、それぞれに応じた学びの機会情報を発信する場所が必要である。
- 第一次産業を基幹産業とする地域で、後継者不足や共働きの労働力者が多く、青年・壮年・中年期の利用者が少ない。
- 住民ニーズとしては、新しく開設した市民講座への参加を希望する方が多く、生涯学習への意欲が高い。
- 生涯学習講座成果発表会（美里あいら文化祭）は、市民講座、同好会、小中学校の参加を得て開催し、出演者を含む来館者は延べ1,000人程度の参加がある。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【キャッチフレーズ】

やさしいまち やさしいひと コミュニティセンター吾平振興会館

【具体的な取組】

- 生涯学習推進協議会の活性化：4つの小中学校の校長先生やPTA会長及び各種団体や地域の代表者との連携を密にするとともに、活動内容を偶数月に発行している「あいらだより」に掲載して広報に努めている。
- 市民講座・短期講座・同好会の充実：来館者への声掛けに全職員で取り組み、交流促進に努めている。また、市民講座においては、地域づくり、歴史、運動・健康に関する講座等をバランスよく開設するよう努めている。
- 寺子屋事業の充実：地域内の3か所で寺子屋事業を行い、学習活動の支援などの活動等を実施している。また、ミニトマトの栽培を通して、食に対する関心や大切さを学ぶ機会の充実を図っている寺子屋もある。
- 関係機関・団体との連携：各講座・高齢者大学等の活動に際しては、関係機関等を積極的に活用し、学習内容の深化・多様性を図っている。また、学校等からの地域学校協働活動の協力要請については、地域住民等の協力をいただき子どもたちの指導及びふれあいの場となっている。



市民講座「クラシックギター入門」



寺子屋農園「トマトの栽培、生育観察」

3. 取組による成果や効果

- 生涯学習推進事業の活性化
生涯学習講座については、各種団体との連携強化を図り、充実した内容となっており、新しい講座を設けるなど市民講座の活性化を図っている。また、地域内の幼稚園や小学校より依頼を受け、読書ボランティアグループによる本の読み聞かせを行っている。
- 寺子屋事業における食育の推進
寺子屋では自学自習のほか館外の草取りのボランティア活動も積極的に行っている中で、ミニトマトの苗を1鉢ずつの植え付け、生育の観察日誌により記録をとり、収穫までの作業を体験することで食に関する学習にも役立っている。



読書ボランティアによる読み聞かせ

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 生涯学習推進協議会の役員会や総会時での行事立案・実施における意見などを参考に次年度の取組を行う。
- 市民講座・短期講座の開設に関する参加者や講師の要望を活動日誌等で把握し、分析のうえ改善を図る。
- 地域学校協働活動に対しては、ボランティアを募るのに時間を要するため、新学期初めに予定表を提出してもらうようになっている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 来館者に対しての、あいさつと声掛けを大切にしている。
- 館内に季節の花や四季に応じた装飾を施し、来館者が気持ちよく学習やスポーツができるように努めている。また、館外の除草作業や花苗の植え付け植え替えなどの作業を定期的に行い環境美化に努めている。



会館花壇の薔薇の手入れ

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 地域に根差した公民館・地域の方々から愛される公民館を目指す。
- 本地域には、吾平山上陵を代表とする史跡が多く残されている。「地域づくり」「地域の活性化」に向けた取組を美里吾平コミュニティ協議会の各種事業と併せて積極的に取り組む。



街づくりイベント「美里あいら雑祭り」

学び・語らい・楽しく集えるコミュニティ施設を目指す

北谷町美浜区公民館(沖縄県)



公民館の沿革・年表

- ・平成15年 美浜区誕生(集会所にて公民館活動開始)
- ・平成18年 指定管理者制度導入
- ・平成21年 美浜区公民館落成
- ・令和 3年 沖縄県優良公民館表彰受賞
- ・令和 3年 Wi-Fi設備導入
- ・令和 4年 美浜区公民館・自治会公式LINE開設

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- 公民館活性化事業の様子をチラシにして区民に報告
 - R4/10/23(日)「ミハマカラオケ大会2022」
 - R4/12/11(日)「JazzNight」
 - R4/12/25(日)「MIHAMAにBIGサンタがやってくる」
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、大きな一つのイベントではなく人数制限をして3回に分散してイベントを開催した。そのイベントの様子をチラシにして区民に報告。

公民館情報	1. 公民館対象人口	2913人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)
	2. 建物設置年月日	平成21年4月26日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	50台
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (美浜区自治会) <input type="checkbox"/> その他 ()			
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 228人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 17281人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 330人	合計 17,839人	
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 2人 (職員のうち社会教育士の数 0人)	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 合計 3人
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input checked="" type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()			
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (区政委員会)			
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 自主夜間中学
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ()) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (美浜区公民館と美浜集会所の二つの建物があり活用している。)			
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (美浜保育所、桑江中学校、浜川小学校、デポアイランド通り会、オキハワハンズオンNPO他)			

北谷町美浜区公民館

OPEN 9:00~22:00

TEL 098-926-5185

HP

<http://mihamaku.chatan.jp>

SNS

<http://liff.line.me/1645278921-kWRPP32a/?accountid=317avfad>





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

北谷町美浜区は、西海岸沿いに位置し商業施設やホテルが立ち並び県内屈指の観光地で、今年で誕生20年を迎える。県外からの移住も多く人口は増加しているが、自治会加入率は横ばいとなっている。海拔5メートル以下の場所が多く、津波など防災対策が大きな課題となっている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

●公民館活性化事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、観客数を制限しイベントを分散して開催した。

- ・10月23日の「ミハマカラオケ大会2022」
- ・12月8日～1月9日「光のページェント IN MIHAMA」（公民館イルミネーション）
- ・12月21日「Jazz Night」
- ・12月25日「MIHAMAにBIGサンタがやってくる」

約2か月間の長丁場の公民館活性化事業の開催となり、多くのスタッフが必要となり役員を中心に多くの区民にボランティア参加協力を呼び掛けた。

イベントのチラシもインパクトあるデザインにして人目を引くようにした。

●防災カフェ

公民館では、防災士・自主防災組織のメンバーを中心に、「防災カフェ」を“31日”のある月に開催し、「おしゃべりをしながら災害・防災について共有し、不安解消・スキルアップ、新しいアイデアがうまれるかも」と、参加しやすい雰囲気づくりに努め、zoomでのオンライン参加もできるようにした。

●ICTの活用

Wi-Fiの設置、公式LINEによる情報発信、zoomによるオンライン参加。



BIGサンタがやってくる



防災カフェ

3. 取組による成果や効果

●イベントを分散して開催することにより、約2か月間のイベント期間を、児童生徒のユースボランティアを含む多くの区民の参加協力を得て開催できた。区民のアイデアによる大きなツリーは、通り会や地元企業、ユースボランティア、区政委員、青年部、その他多くのボランティア協力をいただいた。カラオケ大会約110人、Jazz Night約100人、みはまにBIGサンタがやってくる約120人が参加し無事終了することができた。

●防災カフェを“31日”のある月に定期的に開催し、令和4年度末で24回目を数える。多くの参加があり、区民の防災意識の定着が図られている。

●公民館講座をLINEで周知若い人の参加が増えた。サークルメンバーから、無料Wi-Fiがあるので、スマートフォンで音楽を流せるので「とても便利だ」と好評である。



光のページェント

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

各イベントの実行委員会にて検証・改善を行う取り組みの話し合いをしている。年間計画や年間予算については、美浜区自治会の総会に提案し承認を得ている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

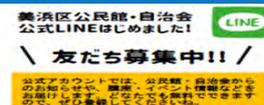
誰もが学び・語らい・楽しく集える公民館を目指して、何よりも区民一人一人との“対話”を大切にしている。対話をとおしてそれぞれのニーズや好きなこと、得意なことを知り次につなげていく。“一人一役”で誰もが活躍できるような公民館活動にすることを心がけている。



ユースボランティア

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

公民館に来たことがない人も足を運んでもらえるような公民館にしたい。公民館だよりや自治会だよりを見やすい内容で定期的には発行し、情報発信の充実にも努める。学びをとおして人と人とのつながりを大切にしたい事業を継続して展開していきたい。



公式LINEの周知





文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



文部科学省総合教育政策局地域学習推進課

文部科学省HP

社会教育についてはコチラ⇒

